

DOCUMENT INFORMATION

FILE NAME : Ch_XI-C-5

VOLUME : VOL-2

CHAPTER : Chapter XI. Transport By Rail

TITLE : Intergovernmental Agreement on the Trans-Asian
Railway Network. Jakarta, 12 April 2006



泛亚铁路网政府间协定

**INTERGOVERNMENTAL AGREEMENT ON THE
TRANS-ASIAN RAILWAY NETWORK**

**МЕЖПРАВИТЕЛЬСТВЕННОЕ СОГЛАШЕНИЕ ПО СЕТИ
ТРАНСАЗИАТСКИХ ЖЕЛЕЗНЫХ ДОРОГ**



泛亚铁路网政府间协定



联合国
2006年

泛亚铁路网政府间协定

缔约各方,

意识到需要促进和发展亚洲及其与周边地区的国际铁路运输,

认识到在进行中的全球化进程中由于国际贸易不断增长而预期国际客运和货运将增加,

忆及联合国亚洲及太平洋经济社会委员会各成员在泛亚铁路网的制订和投入运营方面的合作,

考虑到为加强联合国亚洲及太平洋经济社会委员会各成员之间的关系并推动它们之间的国际贸易和旅游事业,必须根据国际运输和环境的要求发展泛亚铁路网,包括具有国际重要性的车站和集装箱终点站,

同时铭记铁路作为一个高效率的国际多式联运网重要组成部分的作用,尤其是在解决内陆和过境国家特殊需求方面,

达成协议如下:

第 1 条

具有国际重要性铁路线路的定义

为《泛亚铁路网政府间协定》(《协定》)的目的,附件一所称“具有国际重要性的铁路线路”这一术语指:

- a) 目前用于日常国际运输的铁路线路;
- b) 意图用于日常国际运输的现有、修建中或计划修建的铁路线路;
- c) 保证不同国家之间或一国境内终点站之间跨越海洋或湖泊持续运输的轮渡连接;
- d) 提供通关设施/服务的边境关卡、轨距变换站、轮渡码头和连接铁路的集装箱终点站。

第 2 条

泛亚铁路网的通过

缔约各方(“各方”)谨此通过,本协定附件一所列具有国际重要性的铁路线路以作为各缔约方拟在其国家规划框架内发展具有国际重要性铁路线路的协调计划。

第 3 条

泛亚铁路网的发展

应使泛亚铁路网线路符合本协定附件二所载有关技术特性的指导原则。

第 4 条

签署和成为缔约方的程序

1. 本协定从二零零六年十一月十日到十一日在大韩民国釜山，嗣后从二零零六年十一月十六日到二零零八年十二月三十一日在纽约联合国总部向联合国亚洲及太平洋经济社会委员会成员国开放供签署。
2. 各国可通过以下方式成为本协定的缔约方：
 - a) 须经批准、接受或核准的签字，随后加以批准、接受或核准；或
 - b) 加入。
3. 批准、接受、核准或加入须向联合国秘书长交存正式文书方可生效。

第 5 条

生效

1. 本协定应在至少八(8)个国家的政府根据第四条第二款和第三款同意接受本协定的约束之日后第九十天生效。
2. 对在本协定生效条件满足之日以后交存批准、接受、核准或加入文书的国家，本协定将在该国交存上述文书之日九十(90)天后对其生效。

第 6 条

泛亚铁路网工作组

1. 联合国亚洲及太平洋经济社会委员会须设立一个泛亚铁路网工作组（“工作组”），以审议本协定的执行情况和任何修订建议。联合国亚洲及太平洋经济社会委员会的所有成员国均为工作组的成员。
2. 工作组每两年开一次会。任何缔约方也可通知秘书处，要求召开工作组特别会议。秘书处须将该要求通知工作组所有成员，若在秘书处通知之日起四（4）个月内有不少于三分之一的缔约方表示同意该要求，则须召集工作组特别会议。

第7条

修订正文的程序

1. 对本协定的正文可根据本条规定的程序进行修订。
2. 任何缔约方均可提出对本协定的修订建议。
3. 秘书处须在召开拟通过修正案的工作组会议至少四十五(45)天之前向工作组所有成员通报任何修订建议的案文。
4. 修正案须获得工作组出席并投票的缔约方的三分之二多数通过。秘书处须将业经通过的修正案转交联合国秘书长，并由后者通报所有缔约方接受。
5. 根据本条第四款获得通过的修正案，得在获得三分之二的缔约方的接受后十二(12)个月后生效。除在修正案生效之前就宣布不接受修正案的缔约方之外，修正案对所有缔约方生效。任何根据本款宣布不接受业已通过的修正案的缔约方可在此后任何时候向联合国秘书长交存对该修正案的接受书。该修正案得在上述接受书交存之日起十二(12)个月之后对该国生效。

第8条

修订附件一的程序

1. 对本协定附件一可根据本条所规定的程序进行修订。
2. 为第8条的目的，“直接有关缔约方”为其领土为修订主题所在地的缔约方。
3. 有关改变边境车站的修订案只能由直接有关缔约方与分享该修正案主题相关的边境的邻国协商并获得其书面同意后提出。
4. 任何直接有关缔约方均可就不改变边境车站的问题提出修改。
5. 秘书处须在召开拟通过修正案的工作组会议至少四十五(45)天之前向工作组所有成员通报任何修订建议的案文。
6. 修正案须获得出席工作组会议并投票的缔约方的多数通过。秘书处须将业经通过的修正案转交联合国秘书长，并由后者通报所有缔约方。
7. 如在通知之日起六(6)个月内通知联合国秘书长其反对该项修正的不到缔约方的三分之一，根据本条第六款通过的任何修正案应被视为接受。

8. 根据本条第七款被接受的修正案得在本条第七款提及的六(6)个月期满后三(3)个月后对所有缔约方生效。

第 9 条

修订附件二的程序

1. 对本协定附件二可根据本条所规定的程序进行修订。
2. 任何缔约方均可提出修订建议。
3. 秘书处须在召开拟通过修正案的会议至少四十五(45)天之前将任何修订建议的案文通报工作组所有成员。
4. 修正案须获得工作组出席并投票的缔约方中的多数通过。秘书处须将业经通过的修正案转交联合国秘书长，并由后者通报所有缔约方。
5. 根据本条第四款通过的修正案，若在自通知之日起六(6)个月内向联合国秘书长通报反对该修正案的缔约方不到三分之一，该修正案则被视为接受。
6. 根据本条第五款被接受的修正案得在本条第五款提及的六(6)个月期满后三(3)个月后对所有缔约方生效。

第 10 条

保留

除第十三条第五款规定的情况外，对本协定的任何条款均不得提出保留。

第 11 条

退出

任何缔约方均可向联合国秘书长发出书面通知，宣布退出本协定。退出决定将在秘书长收到该通知之日起一(1)年后生效。

第 12 条

停止生效

若缔约方的数目在任何连续十二(12)个月内少于八(8)个，本协定将停止生效。在这种情况下，秘书处应向各缔约方发出通知。若缔约方数目达到八(8)个，本协定应再次生效。

第 13 条

争端的解决

1. 若两个或两个以上的缔约方就本协定的解释或适用存在任何争端，而争端各方无法通过谈判或协商解决，可在争端任何一方的要求下提交给争端各方相互同意选定的一位或多位调解人进行调解。在提出调解要求之后三(3)个月内，如争端各方未能就一位或多位调解人的人选达成一致意见，则其中任何一缔约方均可要求联合国秘书长指定单一独立的调解人，向其提交争端。

2. 根据本条第一款指定的一位调解人或多位调解人的建议虽然不具有约束性，但应成为争端各方重新审议的基础。

3. 经相互商定，争端各方可事先同意接受关于一位或多位调解人的建议具有约束力。

4. 本条第一、二、三款不得解释为排除争端各方相互同意的解决争端的其它措施。

5. 任何国家在交存其批准、接受、核准或加入文书时，可交存一份保留，声明其并不认为自己受本条关于调解的规定的约束。其它缔约方在与交存这一保留的任何缔约方相关的调解中不受本条规定的约束。

第 14 条

适用的限制

1. 本协定内任何规定不得被理解为阻止缔约方采取它认为对其内部或外部安全所必要的符合《联合国宪章》规定并限于紧急事态的行动。

2. 缔约方应尽一切努力发展符合本协定的泛亚铁路网。然而，本协定内任何规定不得被理解为任何缔约方接受允许货运和客运交通通过其领土的义务。

第 15 条

附件

本协定的附件一和附件二构成本协定的组成部分。

第 16 条

秘书处

联合国亚洲及太平洋经济社会委员会被指定担任本协定秘书处。

第 17 条

保管人

联合国秘书长是本协定指定保管人。

下列签署人经正式授权签署本协定，以昭信守。

本协定于二零零六年十一月十日在大韩民国釜山开放签署，协定用中文、英文和俄文写成，合成一份，三种文本同等作准。

附件一

泛亚铁路网

泛亚铁路网由以下具有国际重要性的各铁路线组成。

构成泛亚铁路网基础的各国线路的始发站和终点站以黑体表示，然后垂直列出。支线在枢纽站的右边列出。进一步的支线在该第一支线下缩入列出。所有线路在泛亚铁路网内都同等重要。

如线路在边界处开始或终止，在该线的首站或末站之前或之后用括号加上边境站名称和直接有关的邻国名称。

在线路上具有特定功能的各站名称之后用斜体和括号说明其功能。这类功能包括：

- (边界站)，
- (换轨距)，
- (枢纽)，
- (海运衔接)，以及
- (轮渡码头)。

空缺路段都放在[方括号]内。

至少 20 英尺或更长的具备国际标准化组织(ISO)的集装箱装卸设施的各站用下划线表示。

泛亚铁路网线路一览表

亚美尼亚

艾鲁姆 - Niuvedi

(萨达赫洛, 格鲁吉亚)

艾鲁姆 (边境车站)

Gyumri (联轨站)

→ 阿胡良 (边境车站, 换轨距) - (Dogu Kapi, 土耳其)

马西斯 (联轨站)

→ 埃里温 - Ijevan (边境车站) - (Barkhudarly, 阿塞拜疆)

↳ Gagarin - Martuni - [Jermuk - Kapan - Meghri (边境车站)] -
(Marand, 伊朗伊斯兰共和国)

Yeraskh (边境车站)

(Belidag - 奥尔杜巴德,
阿塞拜疆)

Meghri

Niuvedi (边境车站)

(Agbent, 阿塞拜疆)

阿塞拜疆

Yalama - Beyouk Kesik

(萨穆尔, 俄罗斯联邦)

Yalama (边境车站)

巴库 (轮渡码头)

→ (轮渡连接伊朗伊斯兰共和国、哈萨克斯坦、俄罗斯联邦和土库曼斯坦在里海的港口)

阿利亚特 (联轨站)

→ Ali Bairamli (联轨站) - 阿斯塔拉 (边境车站, 换轨距) - (阿斯塔拉, 伊朗伊斯兰共和国)

→ Ali Bairamli (联轨站) - Agbent (边境车站) - (Niuvedi-Meghri (边境车站), 亚美尼亚) - Ordubad - Djulfa (边境车站, 换轨距) - (Djulfa, 伊朗伊斯兰共和国)

阿克斯塔法

→ Barkhudarly (边境车站) - (Ijevan, 亚美尼亚)

Beyouk Kesik (边境车站)

(加尔达巴尼, 格鲁吉亚)

孟加拉国

达尔索纳 - Gundum

(Gede, 印度)

达尔索纳 (边境车站)	
伊舒尔迪 (联轨站)	→ Abdulpur (联轨站) - 罗洪布尔 (边境车站) - (Singhabad, 印度) ↳ Abdulpur (联轨站) - 巴尔博蒂布尔 - Birol (边境车站) - (Radhikapur, 印度)
<u>Tongi</u> (联轨站)	→ <u>达卡</u>
阿考拉 (联轨站)	→ 古劳拉 - 萨赫巴 布尔 (边境车站) - (Mahisasan, 印度)
<u>吉大港</u> (接海运)	
多哈扎里	
[Gundum (边境车站) 缅甸]	

柬埔寨

波贝 - 西哈努克城

(Klong Luk, 泰国)

[波贝 (边境车站)	
诗梳风]	
Bat Deng (联轨站)	→ [磅湛 (边境车站) - (禄宁省 ¹ , 越南)] 1. 确切地点待定.
<u>金边</u> (联轨站)	
<u>西哈努克城</u> (接海运)	

中国

阿拉山口 - 连云港

(多斯图克, 哈萨克斯坦)

阿拉山口 (边境车站, 转轨距)

乌鲁木齐

吐鲁番 (联轨站) → 喀什 [(边境车站, 换轨距) - (Torugart, 吉尔吉斯斯坦)]

兰州

宝鸡 (联轨站) → 昆明 (联轨站) - 祥云 (联轨站) - 大理 (联轨站) - [Kachang (边境车站, 换轨距) - (密支那, 缅甸)]

↳ [祥云 - 景洪 (边境车站, 换轨距) - (Boten, 老挝)]

↳ 大理 (联轨站) - [瑞丽 (边境车站, 换轨距) - (Muse, 缅甸)]

→ 昆明 (联轨站) - 河口 (边境车站) - (老街, 越南)

→ 昆明 (联轨站) - 南宁 (联轨站) - 广州 (联轨站)

↳ 南宁 (联轨站) - 衡阳 (接京 - 深线)

↳ 广州 (接京 - 深线)

西安

郑州 (联轨站) → (接京 - 深线)

澳洲 (联轨站) → (接津 - 沪线)

↓ 连云港 (接海运)

二连浩特 - 丹东

(Zamyn Uud, 蒙古)

二连浩特 (边境车站, 换轨距)

北京 (联轨站) → (接京 - 深线)

天津 (接海运)

沈阳 (联轨站) → (接满州里 - 大连线)

丹东 (边境车站, 换轨距)

↓ (新义州, 朝鲜民主主义人民共和国)

满州里 - 大连

(外贝加尔斯克, 俄罗斯联邦)

满州里 (边境车站, 换轨距)

哈尔滨 (联轨站)

→ 绥芬河 (边境车站, 换轨距) - (格罗杰科沃, 俄罗斯联邦)

长春 (联轨站)

→ 图们 (边境车站) - (南阳, 朝鲜民主主义人民共和国)

沈阳 (联轨站)

→ (接二连浩特 - 丹东线)

大连 (接海运)

北京 - 深圳

北京

郑州 (联轨站)

→ (接阿拉山口-连云港线)

武汉

衡阳 (联轨站)

→ 南宁 (联轨站) - 凭祥 (边境车站, 换轨距*) - (同登, 越南)
(* 双轨距铁路进入越南至嘉林)
└ 南宁 - 昆明

广州 (联轨站)

→ 南宁 (联轨站) - 昆明
└ 凭祥 (边境车站, 换轨距*) - (同登, 越南)
(* 双轨距铁路进入越南至嘉林)

深圳

天津 - 上海

天津 (接海运)

济南 (联轨站)

→ 青岛 (接海运)

溪洲 (联轨站)

→ (接阿拉山口-连云港线)

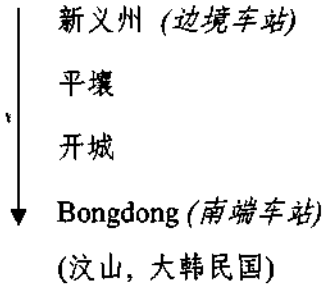
南京

上海 (接海运)

朝鲜民主主义人民共和国

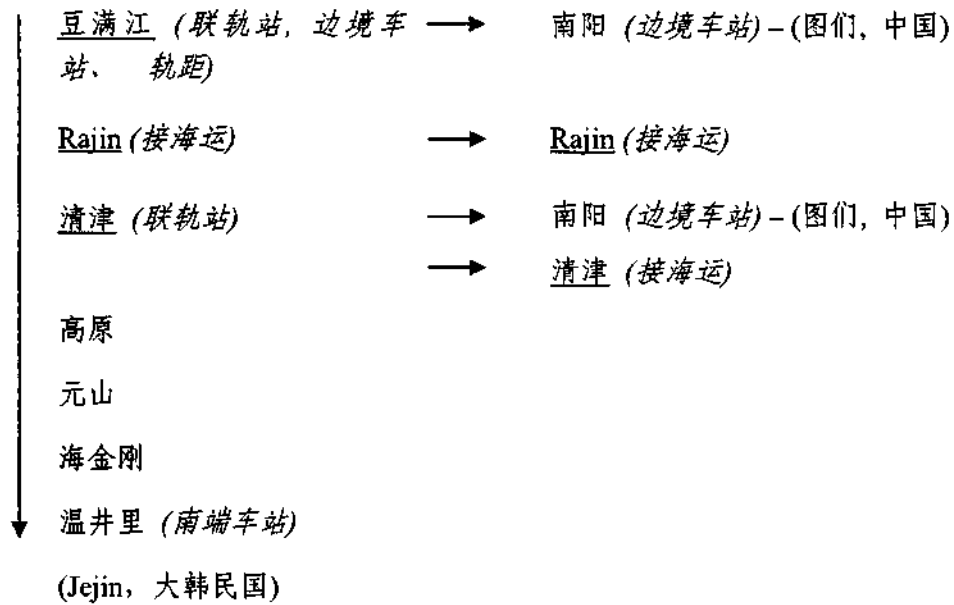
新义州 - 开城

(丹东, 中国)



豆满江 - 金刚山

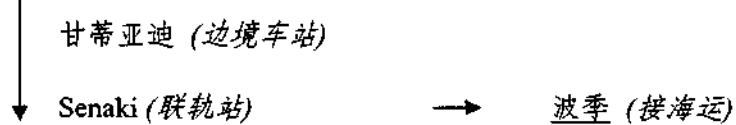
(哈桑, 俄罗斯联邦)



格鲁吉亚

甘蒂亚迪 - 加尔达巴尼

(韦肖洛耶, 俄罗斯联邦)



萨姆特雷迪亚 (联轨站) → 巴统 (接海运)
第比利斯 (联轨站) → 萨达赫洛 (边境车站) - (艾鲁姆, 亚美尼亚)
 → [阿中尔卡拉基 (边境车站, 换轨距) - (卡尔斯, 土耳其)]
 ↓
 加尔达巴尼 (边境车站)
 (Beyouk Kesik, 阿塞拜疆)

印度

Attari - Jiribam

(瓦格赫, 巴基斯坦)

Attari (边境车站)

Dhandari Kalan

新德里 (联轨站)

→ 马图拉 (联轨站) - 阿格拉 - 那格浦尔 (联轨站) - 维杰亚瓦达 (联轨站) - Chennai (接海运) - Jolarpettai (联轨站) - 马杜赖 (联轨站) - 杜蒂戈林 (接海运)

↳ 马图拉 (联轨站) - 孟买 (接海运)

↳ 那格浦尔 (联轨站) - 孟买 (接海运)

↳ 那格浦尔 (联轨站) - 加尔各答 (接海运)

↳ 维杰亚瓦达 (联轨站) - Visakhapatnam (接海运) - 加尔各答 (接海运)

↳ Jolarpettai (联轨站) - 孟买 (接海运)

↳ 马杜赖 (联轨站) - 拉梅斯沃勒姆 (轮渡码头) - (搭莱曼纳尔, 斯里兰卡)

坎普尔 (联轨站)

→ 拉克绍尔 (边境车站) - (Birgunj, 尼泊尔)

莫卧儿瑟赖

锡达兰布尔 (联轨站)

→ 拉克绍尔 (边境车站) - (Birgunj, 尼泊尔)

加尔各答 (联轨站, 接海运)

→ 霍尔迪亚 (接海运)

↓
Gede (边境车站)

(达尔索纳, 沙赫巴布
尔, 孟加拉国)

Mahisasan (边境车站)

Badarpur

↓ Jiribam (边境车站、换轨距)

[(德穆, 缅甸)]

印度尼西亚

默拉克 - 外南梦 (巴纽旺宜)

默拉克 (轮渡码头)

雅加达 (联轨站、接海运) → 苏加武眉 - Padalarang - Cikampek (联轨站)

Cikampek (联轨站) → 井里汶 (联轨站) - 三宝壟 (联轨站) - Surabayapasarturi (接海运)
↳ 普鲁普克 (联轨站) - 普禾加多 - 克罗地亚 (联轨站)

万隆

Gedebage

克罗地亚 (联轨站) → 普禾加多 - 普鲁普克 (联轨站) - 井里汶 (联轨站)

日惹 (联轨站) → [马格朗]

Solobalapan (联轨站) → 甘地 - 三宝壟 (联轨站)

克托索诺 (联轨站) → Wonokromo - Surabayakota

玛琅

邦义尔

↓ 外南梦 (轮渡码头)

[班达亚齐] - 庞卡兰苏苏 - 兰陶普拉帕

[班达亚齐]

庞卡兰苏苏

棉兰 (联轨站) → 勿拉湾 (接海运)

直名丁宜岛 (联轨站) → 先达

基萨兰 → 丹戎巴来

↓ 兰陶普拉帕 → [Payakumbuh]

直落巴由 - Muaro

直落巴由 (接海运)	
Bukitputus (联轨站)	→ Indarung
巴东	
Lubuk Alung (联轨站)	→ 纳拉斯
巴当班让 (联轨站)	→ 武吉丁宜 - 帕雅孔布
Muarakalaban (联轨站)	→ 沙哇伦多
Muaro	→ [卢布林高]

卢布林高 - 潘姜

卢布林高	
Muaraenim (联轨站)	→ Tanjung Enim
普拉布穆利 (联轨站)	→ <u>Kertapati</u>
Tanjungkarang (联轨站)	→ Tarahan
潘姜 (轮渡码头)	

伊朗伊斯兰共和国

Razi - 萨拉赫斯

(Kapikoy, 土耳其)

<u>Razi</u> (边境车站)	
Sufian (联轨站)	→ <u>焦勒法</u> (边境车站、换轨距) - (Djulfa, 阿塞拜疆)
<u>大不里士</u>	
Miyaneh (联轨站)	
<u>Qazvin</u> (联轨站)	→ [拉什特 - 班达尔-e-恩泽利港 (轮渡码头) - 阿斯塔拉 (边境车站、换轨距)] - (阿斯塔拉, 阿塞拜疆) (轮渡连接阿塞拜疆、哈萨克斯坦、俄罗斯联邦和土库曼斯坦在里海的港口)
<u>德黑兰</u> (联轨站)	→ 库姆 (联轨站) - Badrud (联轨站) - 梅博德 - 巴夫格 (联轨站) - 克尔曼 - [巴姆 - 法赫拉季] - <u>扎黑丹</u> (换轨距) - 米尔贾韦 (边境

车站) - (塔夫坦山, 巴基斯坦)

↳ 库姆 (联轨站) - Arak (联轨站) - 阿瓦士 (联轨站) - 霍拉姆沙赫尔 (接海运)

↳ [Arak (联轨站) - Kermanshah - Khosravi (边境车站) - (Khaneghein, 伊拉克)]

↳ 阿瓦士 - 伊玛目港 (接海运)

↳ Badrud (联轨站) - 伊斯法罕

↳ 巴夫格 (接萨拉赫斯 - 阿巴斯港线)

Garmsar (联轨站)

→ Bandar-e-Amirabad (轮渡码头) (轮渡连接阿塞拜疆、哈萨克斯坦、俄罗斯联邦和土库曼斯坦在里海的港口)

Shahrood

卡什马尔 (联轨站)

→ (接萨拉赫斯 - 阿巴斯港线)

法里曼 (联轨站)

→ Mashhad

萨拉赫斯 (边境车站, 换轨距)

(萨拉赫斯, 土库曼斯坦)

萨拉赫斯 - 阿巴斯港

(萨拉赫斯, 土库曼斯坦)

萨拉赫斯 (边境车站, 换轨距)

法里曼 (联轨站)

→ Mashhad

卡什马尔 (联轨站)

→ (接 Razi - 萨拉赫斯线)

托尔巴特海达里耶

→ [桑甘 (边境车站) - 哈拉特 (边境车站) - (阿富汗)]

塔巴斯

Chadormalu (联轨站)

→ 阿尔达坎

巴夫格 (联轨站)

→ (接库姆 - 米尔贾韦线)

阿巴斯港 (接海运)

哈萨克斯坦

彼德罗巴甫洛夫斯基 - 多斯图克

(Utyak, 俄罗斯联邦)

彼德罗巴甫洛夫斯基 (边境车站)

Kokshetav

Astana (联轨站)

- Ecil - 托博尔 (联轨站, 边境车站) - (卡尔塔雷, 俄罗斯联邦)
 - ↳ 托博尔 (联轨站) - Aiteke-bi - Nikeltau - Kandagach (联轨站)
- (接 Semiglavii Mar-Aktogai 线)

Karaghandy

莫因特 (联轨站)

- 楚 (联轨站)

阿克斗卡 (联轨站)

- 塞米巴拉金斯克 - 阿乌 (边境车站) - (洛科季, 俄罗斯联邦)
- (接 Semiglavii Mar-Aktogai 线)

多斯图克 (边境车站, 换轨距)

(阿拉山口, 中国)

Semiglavii Mar - 阿克斗卡

(奥津基, 俄罗斯联邦)

Semiglavii Mar (边境车站)

Uralsk (边境车站)

Iletsk I (边境车站), 俄罗斯联邦

- (Orenburg, 俄罗斯联邦)

阿克托别

Kandagach (联轨站)

- Nikeltau (边境车站) - (Orsk, 俄罗斯联邦)
 - ↳ Nikeltau (边境车站) - Aiteke-bi - 托博尔 (联轨车站) - Astana (联轨站)
- (接彼德罗巴甫洛夫斯基 - 多斯图克线)
- 马卡特 (联轨站) - 加纽什斯诺 - (Aksaraiskaya, 俄罗斯联邦)
 - ↳ 马卡特 (联轨站) - 别伊涅乌 (联轨站) - Oasis - (Karakalpakia, 乌兹别克斯坦)
 - ↳ 别伊涅乌 (联轨站) - 阿克套港 (轮渡码头) - (轮渡连接阿塞拜疆、伊朗伊斯兰共和国、俄罗斯联邦和土库曼斯坦在里海的港口)

秋拉塔姆

克孜勒奥尔达

Arys (联轨站) → Sary-Agash (边境车站) - (克列斯, 乌兹别克斯坦)

厅姆肯特

Djambul

卢戈瓦亚 (联轨站和边境车站) → (比什凯克, 吉尔吉斯斯坦)

楚 (联轨站) → 莫因特 (联轨站)

阿拉木图 - I

乌什托别

阿克斗卡 (联轨站) → (接彼德罗巴浦洛夫斯基 - 多斯图克线)

吉尔吉斯斯坦

Bishkek - 科奇科尔

(卢戈瓦亚, 哈萨克斯坦)

阿拉梅金

巴雷克奇

[科奇科尔]

[科奇科尔 - Torugart]

[科奇科尔]

卡拉 - Keche

阿尔帕 (联轨站) → [空缺路段] - 奥什 (卡拉苏站) - Jalal-Abad (边境车站) - (安集延, 乌兹别克斯坦)

Torugart (边境车站, 换轨距)

(喀什, 中国)]

与乌兹别克斯坦交界 - 奥什

| (安集延, 乌兹别克斯坦)
↓ 奥什 (卡拉苏站) (边境车站)

老挝人民民主共和国

[塔纳琅 - 穆嘉]

[(廊开, 泰国)]

| 塔纳琅 (边境车站)
| 万象 (联轨站) → [Boten (边境车站) - (景洪, 中国)]
| 他曲 (联轨站, 边境车站) → [Nakhon Phanom, 泰国]
↓ 穆嘉 (边境车站)
(穆嘉, 越南)]

[Vangtao - Densavanh]

[(Chong Mek, 泰国)]

| Vangtao (边境车站)
| 巴色
| 沙湾拿吉 (联轨站和边境车站) → [(穆达汉, 泰国)]
↓ Densavanh (边境车站)
(寮保, 越南)]

马来西亚

巴丹勿刹 - 新山

(巴丹勿刹, 泰国)

巴丹勿刹 (边境车站)

大山脚 (联轨站)

→ 巴特沃思 (接海运)

怡保

吉隆坡 (联轨站)

→ Port Klang (接海运)

→ Setia Jaya

加影

金马士 (联轨站)

→ Wakaf Bahru (联轨站) - 晏斗班让 (边境车站) - (Sungai Kolok, 泰国)

↳ Wakaf Bahru - 道北 (通帕)

昔加末

甘巴士 Bahru (联轨站)

→ 巴西 Gudang (接海运)

→ Tanjung Pelepas (接海运)

↓ 新山 (边境车站)

(新加坡)

蒙古

Sukhbaatar - Zamyn Uud

(纳乌什基, 俄罗斯联邦)

Sukhbaatar (边境车站)

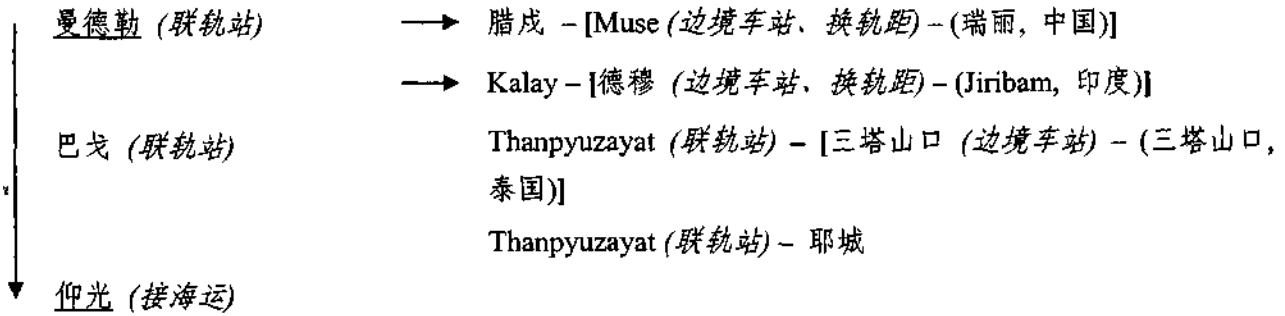
乌兰巴托

↓ Zamyn Uud (边境车站, 换轨距)

(二连浩特, 中国)

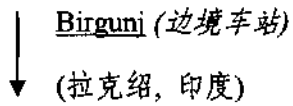
缅甸

曼德勒 - 仰光

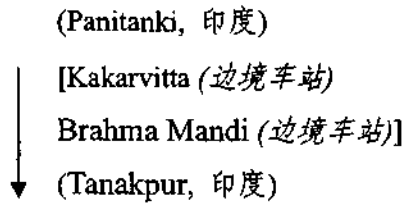


尼泊尔

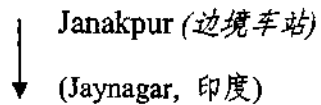
Birgunj - 印度边界



[Kakarvitta - Brahma Mandi]

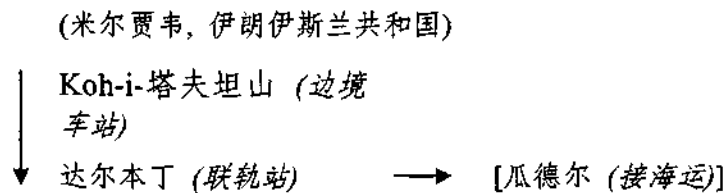


Janakpur - 印度边界



巴基斯坦

塔夫坦山 - 瓦格赫



斯贝曾德 (联轨站) → 奎达 - 博斯坦 - 杰曼 (边境车站) - (Spinbuldak, 阿富汗)
 罗赫里 (联轨站) → 海得拉巴 (联轨站) - 卡拉奇 (接海运) - 加西姆 (接海运)
 ↳ 海得拉巴 (联轨站) - 米尔布尔哈斯 - 科克罗巴尔 (边境车站)
 洛特兰 (联轨站) → 谢尔沙阿 (联轨站) - 哈内瓦尔 - 费萨拉巴德 - 沙赫德拉 (联轨站) (接拉合尔-白沙瓦线)
 → 谢尔沙阿 - 贡迪扬 - 阿塔克 (联轨站) - 白沙瓦 (边境车站) - (阿富汗)
 哈内瓦尔 (联轨站) → 沙赫德拉 (接拉合尔 - 白沙瓦线)
木尔坦
拉合尔 (联轨站)
 ↓ 瓦格赫 (边境车站)
 (Attari, 印度)

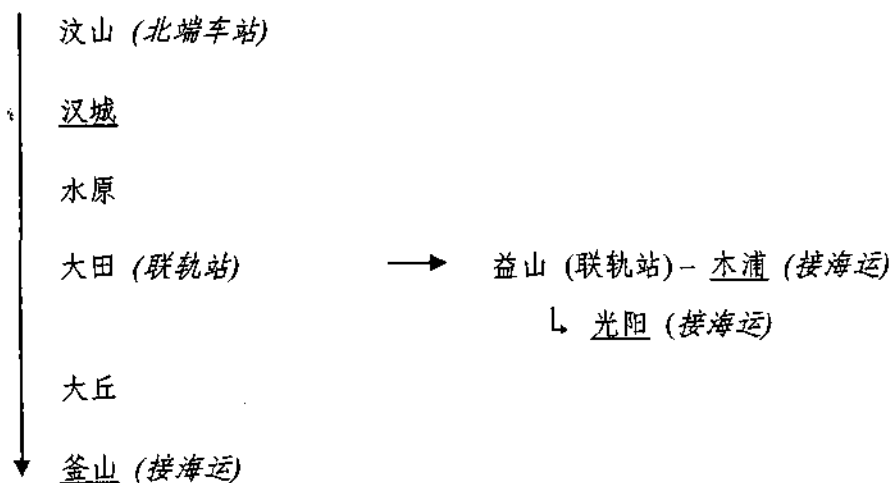
白沙瓦 - 拉合尔
 (阿富汗)

↓ 白沙瓦 (边境车站)
 阿塔克 (联轨站) → 谢尔沙阿 - 洛特兰 (接塔夫坦山 - 瓦格赫线)
伊斯兰堡
拉瓦尔品第
 沙赫德拉 (联轨站) → 哈内瓦尔 - 洛特兰 (接塔夫坦山 - 瓦格赫线)
 ↓ 拉合尔

大韩民国

汶山 - 釜山

(Bongdong, 朝鲜民主主义人民共和国)

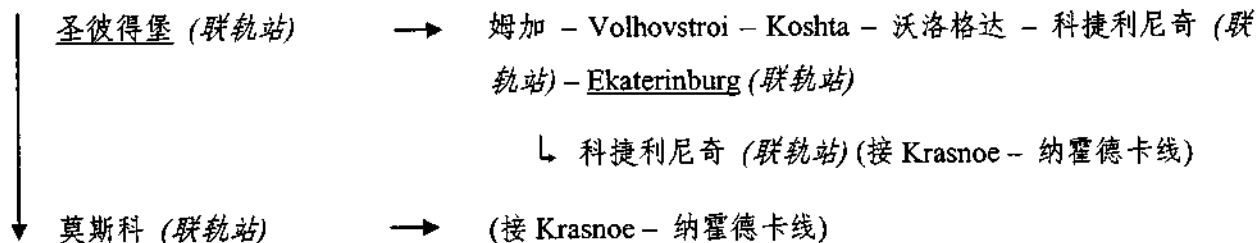


俄罗斯联邦

Buslovskaya - 莫斯科

(瓦伊尼卡拉, 芬兰)

Buslovskaya (边境车站)



Suzemka - 莫斯科

(Zernovo, 乌克兰)

Suzemka (边境车站)



Krasnoe - 纳霍德卡

(奥西诺夫卡, 白俄罗斯)

Krasnoe (边境车站)

斯摩棱斯克

莫斯科

下诺夫哥罗德

科捷利尼奇 (联轨站) → 圣彼得堡

Ekaterinburg (联轨站) → 库尔干 - Utyak (边境车站) - (Petrovavlosk, 哈萨克斯坦)

→ 车里雅宾斯克 - 卡尔塔雷 (联轨站、边境车站) - (托博尔, 哈萨克斯坦)

↳ 卡尔塔雷 (联轨站、边境车站) - 奥尔斯克 (联轨站、边境车站) - (Nikeltau, 哈萨克斯坦)

↳ 奥尔斯克 (联轨站、边境车站) - 奥伦堡 - (Ilets, 俄罗斯联邦) - (阿克纠宾斯克, 哈萨克斯坦)

鞑靼 (联轨站) → 洛科季 (联轨站和边境车站) - (阿尔马, 哈萨克斯坦)

新西伯利亚 (联轨站) → 洛科季 (联轨站和边境车站) - (阿尔马, 哈萨克斯坦)

克拉斯诺亚尔斯克

伊尔库次克

乌兰乌德

Zaudinski (联轨站) → 约乌斯基 (边境车站) - (Sukhbaatar, 蒙古)

Karimskaya (联轨站) → 外贝加尔期克 (边境车站、换轨距) - (满州里, 中国)

乌苏里斯克 (联轨站) → 格罗杰科沃 (边境车站、换轨距) - (绥芬河, 中国)

Baranovski (联轨站) → 哈桑 (边境车站、换轨距) - (图们江, 朝鲜民主主义人民共和国)

乌格洛瓦亚 (联轨站) → Vladivostok (接海运)

纳霍德卡 (联轨站, 接海运) → 东方港 (接海运)

莫斯科 - Samur

莫斯科

梁赞

科切托夫卡 (联轨站) → 勒季谢沃 - 萨拉托夫 - 奥津基 (边境车站) - (Semiglavii Mar, 哈萨克斯坦)

格里亚济 (联轨站) → 伏尔加格勒

Liski

Likhaya (联轨站) → 罗斯托夫 - 克拉斯诺达 (联轨站) - Veseloe (边境车站) - (甘蒂亚迪, 格鲁吉亚)

↳ 克拉斯诺达 (联轨站) - Krimskaya (联轨站) - 新罗西斯克 (接海运)

↳ Krimskaya (联轨站) - 高加索 (接海运和轮渡)

伏尔加草勒 (联轨站) → 格里亚济

Aksaraykaya (联轨站和边境车站) → (加纽什斯诺, 哈萨克斯坦)

阿斯特拉罕 → Port Olya (轮渡码头) - (轮渡连接阿塞拜疆、伊朗伊斯兰共和国、哈萨克斯坦和土库曼斯坦在里海的港口)

Makhachkala (边境车站、轮渡码头) → (轮渡连接阿塞拜疆、哈萨克斯坦和土库曼斯坦在里海的港口)

↓ Samur (边境车站)

(Yalama, 阿塞拜疆)

新加坡

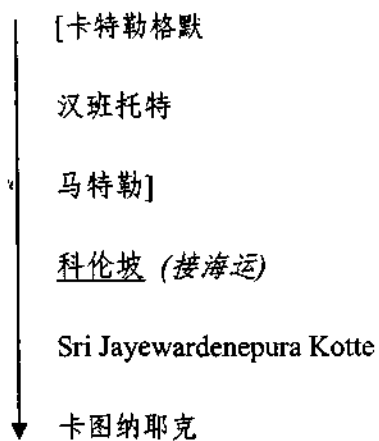
兀兰 -

(新山, 马来西亚)

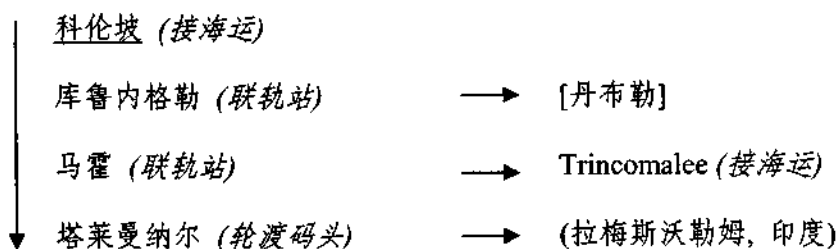
↓ 兀兰 (边境车站)

斯里兰卡

卡特勒格默 - 卡图纳耶克



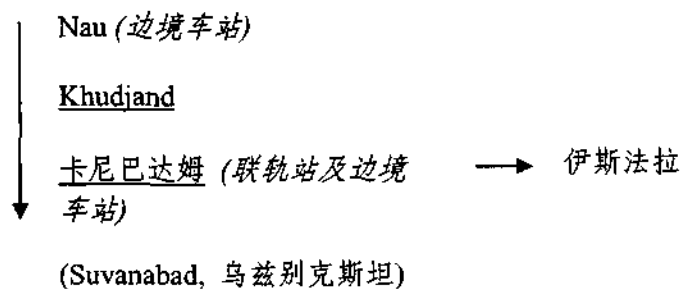
科伦坡 - 塔莱曼纳尔



塔吉克斯坦

Nau - 卡吉巴达姆

(别卡巴德, 乌兹别克斯坦)



帕赫塔阿巴德 - 扬吉巴扎尔

(Sariasiya, 乌兹别克斯坦)

- 帕赫塔阿巴德 (边境车站)
- 雷加尔
- 杜尚别 II
- 杜尚别 I
- 扬吉巴扎尔

Khoshad - 库利亚布

(Amuzang, 乌兹别克斯坦)

- Khoshad (边境车站)
- Kurgan Tube (联轨站) → 亚万
- 库利亚布

泰国

廊开 - 巴当勿刹

(塔纳琅, 老挝人民民主共和国)

- 廊开 (边境车站)
- 波艾 (联轨站) → [那空拍依 (边境车站) - (他曲, 老挝人民民主共和国)]
- 耿奎 (联轨站) → [穆达汗 (边境车站) - (沙湾拿吉, 老挝人民民主共和国)]
- 耿奎 (联轨站) → 呵叻 - 乌汶 - [Chong Mek (边境车站) - (巴色, 老挝人民民主共和国)]
- Banphachi (联轨站) → 那空沙旺 (联轨站) - 登猜 (联轨站) - 清迈
 - ↳ [那空沙旺 - Mae Sod (边境车站) - (渺瓦底, 缅甸)]
 - ↳ [登猜 - 清莱 - 湄赛 (边境车站) - (大其力, 缅甸)]
- 曼谷 - Bang Sue (联轨站) → Ladkrabang - 差春骚 (联轨站) - Si Racha (联轨站) - Kao Chi Chan (联轨站) - 梭桃邑 (接海运)
- 差春骚 (联轨站) - 亚兰 - Klong Luk (边境车站) - [(波贝, 柬埔寨)]
- Si Racha - Laemchabang (接海运)
- Kao Chi Chan - Map Ta Put (接海运)
- Nong Pla Duk (联轨站) → 南多 - [三塔卡 (边境车站) - (Thanpyuzayat, 缅甸)]

↓ 合艾 (联轨站) → Sungai Kolok (边境车站) - (Rantau Panjang, 马来西亚)
 ↓ 巴当勿刹 (边境车站)
 (巴当勿刹, 马来西亚)

土耳其

Kapikule - Kapikoy

(保加利亚, 欧洲)

Kapikule (边境车站)

伊斯坦堡

埃斯基谢希尔 (联轨站) → 阿拉云特 - 巴勒克埃西尔 - 伊兹密尔 (边境车站)

安卡拉

Kalin (联轨站) → 萨姆松 (接海运)

锡瓦斯

切廷卡亚 (联轨站) → 卡尔斯 (联轨站) - Dogukapi (边境车站, 换轨距) - (阿胡良, 亚美尼亚)

→ [卡尔斯 (联轨站, 边境车站, 换轨距) - (阿哈尔卡拉基, 格鲁吉亚)]

马拉蒂亚 (联轨站) → Topprakale (联轨站) - Adana - Mersin (接海运)

→ 托普拉卡莱 - 伊斯肯德伦 (接海运)

塔特万 - 凡城 (轮渡)

↓ Kapikoy (边境车站)

(Razi, 伊朗伊斯兰共和国)

土库曼斯坦

Turkmenbashi – Turkmenabad

(巴库, 阿塞拜疆)

<u>Turkmenbashi</u> (轮渡码头)	→	(轮渡连接阿塞拜疆、伊朗伊斯兰共和国、哈萨克斯坦和俄罗斯联邦在里海的港口)
<u>Ashgabat</u>		
Tenzhen		
Mari (联轨站)	→	Parakhat – <u>Sarakhs</u> (边境车站, 换轨距) – (Sarakhs, 伊朗伊斯兰共和国)
Turkmenabad (联轨站和边境车站)	→	Gazodjak (边境车站) – (Pitnyak – K.P.449, 乌兹别克斯坦) – Dashhowuz – Takhyatash (边境车站) – (乌兹别克斯坦)
(Khodchadavlet, 乌兹别克斯坦)		

乌兹别克斯坦

克列斯 – Khodchadavlet

(Sari-Agash, 哈萨克斯坦)

克列斯 (边境车站)		
Tukumachi (联轨站)	→	Ozodlik – [<u>安格连</u> – Khalkobad] – Pap (联轨站) – 浩罕
Sirdarinskaya		
Khavast (联轨站)	→	<u>别卡巴德</u> (边境车站) – (Nau – 卡尼巴达姆, 塔吉克斯坦) – Suvanabad (边境车站) – 浩罕 (联轨站) – <u>马尔吉兰</u> – <u>安集延</u> (边境车站) – (Osh, 吉尔吉斯斯坦)
		↳ 浩罕 (联轨站) – Pap (联轨站) – <u>纳曼干</u>
撒马尔罕		
<u>Ulugbek</u>		
Navoi (联轨站)	→	<u>Tinchlik</u> – Uchkuduk – 努库斯 – <u>昆格勒</u> – Karakalpakia (边境车站) – (Oazis 哈萨克斯坦)

布哈拉 (联轨站) → 卡尔希 (联轨站) - Tashguzar (联轨站) - [迭赫坎阿巴德 - 达尔班德] - Boysun - 库姆库尔干 (联轨站) - Sariasiya (边境车站) - (帕赫塔阿巴德, 塔吉克斯坦)

↳ 卡尔希 (联轨站) - RZD 154(边境车站) - (塔里马尔占 - Kerkichi (联轨站) - 克利夫, 土库曼斯坦) - 铁尔梅兹 (联轨站) - Galaba (边境车站) - (Khairaton, 阿富汗)

↳ 铁尔梅兹 (联轨站) - 库姆库尔干 (联轨站) - Sariasiya (边境车站) - (帕赫塔阿巴德, 塔吉克斯坦)

↓ Khodchadavlet (边境车站)
(Turkmenabad, 土库曼斯坦)

越南

老街 - 胡志明市

(河口, 中国)

↓ 老街 (边境车站)

东英 (联轨站) → 刘舍 - Quan Trieu

Yên Viên (联轨站) → (连接河内 - 同登线)

嘉林 (联轨站) → 海防 (接海运)

河内

Tan Ap (联轨站) → [穆嘉关 (边境车站) - 老挝人民民主共和国]

→ [Vung Ang (接海运)]

岷港

胡志明市 (联轨站) → [Vung Tau (接海运)]

→ [禄宁省¹ (边境车站) - (Kratie, 柬埔寨)]

1. 确切地点待定。

河内 - 同登



附件二

关于泛亚铁路网技术特性的指导原则

1. 总则

本协定附件一所规定的泛亚铁路网的发展须遵从以下关于技术特性的指导原则。缔约各方在建设新铁路和将现有铁路改造升级和现代化时应尽一切努力遵守这些原则。

2. 线路通行能力

具有国际重要性的铁路线路必须拥有充足的通行能力,以便使铁路客货运输服务做到高效、可靠和经济。

3. 车辆负载轨距

鉴于泛亚铁路网将成为亚太经社会区域各国实现一体化国际多式联运网络的一个重要组成部分,网络的现有线路应根据需要加以提升,并修建新线路从而使长度至少 20 英尺的国际标准化组织(ISO)集装箱得以畅通无阻。

4. 运行互通性

技术规格应确保具有国际重要性的铁路沿线国际货物和集装箱运输畅通无阻。因此,铁路线和相关基础设施及设备应达到国际规格,包括关于为运输和转运尤其是载有石油产品、煤、矿砂、水泥和谷物等货物的重型列车的规格。

缔约方应考虑到邻国以及具有国际重要性的铁路线所穿越的其他国家的技术规格,并努力将其线路升级,以便消除技术限制并确保铁路之间的运行互通性。

在轨距可延续或因建设跨界空缺路段而可能使轨距延续的地方,会出现用于国际运输的火车列车,包括制动系统和挂钩是否兼容等具体问题。为此,跨界铁路运行要做到高效率就必须使用气闸机车车辆和可兼容的挂钩系统。

以下为泛亚铁路网的轨距，供参考：

泛亚铁路成员国铁路轨距(毫米)				
1,000	1,067	1,435	1,520	1,676
<ol style="list-style-type: none"> 1. 孟加拉国¹ 2. 柬埔寨 3. 老挝人民民主共和国 4. 马来西亚 5. 缅甸 6. 新加坡³ 7. 泰国 8. 越南⁴ 	印度尼西亚	<ol style="list-style-type: none"> 1. 中国² 2. 朝鲜民主主义人民共和国 3. 大韩民国 4. 伊朗伊斯兰共和国 5. 土耳其 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 亚美尼亚 2. 阿塞拜疆 3. 格鲁吉亚 4. 哈萨克斯坦 5. 吉尔吉斯斯坦 6. 蒙古 7. 俄罗斯联邦 8. 塔吉克斯坦 9. 土库曼斯坦 10. 乌兹别克斯坦 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 孟加拉国¹ 2. 印度 3. 尼泊尔 4. 巴基斯坦 5. 斯里兰卡

泛亚铁路潜在成员：日本（1,067 毫米轨距）和菲律宾（1,067 毫米轨距）

- ¹ 该国铁路网的一部分。
- ² 还有一条 1,000 毫米轨距的铁路线(由/至越南)。
- ³ 由马来西亚铁路提供服务。
- ⁴ 还有轨距 1,435 毫米和 1,000/1,435 毫米双轨距铁路线。

5. 集装箱装卸站的标准

国际多式联运交通要求高效率的集装箱装卸站。泛亚铁路网沿线各国际集装箱装卸站必须：

- 尽可能靠近主干线，以便进出装卸站不浪费时间；
- 与其它调车场分开，以便其运行不受其它调车运行的阻碍；
- 便于公路车辆进出，以便保证公路铁路连接的可靠性；
- 在装卸区的轨道有足够长度，以减少调轨的需要；
- 具有各种设备，其中包括龙门吊车、跨运车、顶端提升机和（或）伸臂堆垛车，能够运载长度至少 20 英尺的国际标准化集装箱；
- 为可能扩大留有余地；
- 为货物清关提供海关设施。

* * * * *

**INTERGOVERNMENTAL AGREEMENT ON THE
TRANS-ASIAN RAILWAY NETWORK**



UNITED NATIONS
2006

INTERGOVERNMENTAL AGREEMENT ON THE TRANS-ASIAN RAILWAY NETWORK

THE CONTRACTING PARTIES,

CONSCIOUS of the need to promote and develop international rail transport in Asia and with neighbouring regions,

AWARE of the expected increase in the international transport of people and goods as a consequence of growing international trade in the ongoing process of globalization,

RECALLING the cooperation among members of the United Nations Economic and Social Commission for Asia and the Pacific in the formulation and operationalization of the Trans-Asian Railway Network,

CONSIDERING that in order to strengthen relations and promote international trade and tourism among members of the United Nations Economic and Social Commission for Asia and the Pacific, it is essential to develop the Trans-Asian Railway Network, including stations and container terminals of international importance, to the requirements of international transport and the environment,

KEEPING also in view the role of railway transport as an important component of an effective and efficient international intermodal transport network, especially in addressing the specific needs of landlocked and transit countries,

HAVE AGREED as follows:

Article 1

Definition of Railway Lines of International Importance

For the purposes of the Intergovernmental Agreement on the Trans-Asian Railway Network (the "Agreement"), the term "railway lines of international importance" as described in Annex I shall refer to:

- a) railway lines currently used for regular international transport;
- b) railway lines, either existing, under construction, or planned, that are intended to be used for regular international transport;
- c) ferry links ensuring continuous transport across seas or lakes between terminals in different States or within one State;

- d) border crossing points, gauge interchange stations, ferry terminals and rail-connected container terminals where Customs clearance facilities/services are provided.

Article 2

Adoption of the Trans-Asian Railway Network

The Contracting Parties (the "Parties") hereto adopt the railway lines of international importance described in Annex I to the Agreement as a coordinated plan for the development of railway lines of international importance which they intend to be undertaken within the framework of the national programmes of the Parties.

Article 3

Development of the Trans-Asian Railway Network

The lines of the Trans-Asian Railway Network should be brought into conformity with the guiding principles related to technical characteristics described in Annex II to the Agreement.

Article 4

Procedure for signing and becoming a Party

1. The Agreement shall be open for signature by States which are members of the United Nations Economic and Social Commission for Asia and the Pacific at Busan, Republic of Korea, on 10 and 11 November 2006, and thereafter at the United Nations Headquarters in New York from 16 November 2006 to 31 December 2008.
2. Those States may become Parties to the Agreement by:
 - a) Signature subject to ratification, acceptance or approval, followed by ratification, acceptance or approval; or
 - b) Accession.
3. Ratification, acceptance, approval or accession shall be effected by the deposit of an instrument in good and due form with the Secretary-General of the United Nations.

Article 5

Entry into force

1. The Agreement shall enter into force on the ninetieth day following the date on which the Governments of at least eight (8) States have consented to be bound by the Agreement pursuant to Article 4, paragraph 2 and 3.
2. For each State which deposits its instrument of ratification, acceptance, approval or accession after the date upon which the conditions for the entry into force of the Agreement have been met, the Agreement shall enter into force for that State ninety (90) days after the date of its deposit of the said instrument.

Article 6

Working Group on the Trans-Asian Railway Network

1. A Working Group on the Trans-Asian Railway Network (the "Working Group") shall be established by the United Nations Economic and Social Commission for Asia and the Pacific to consider the implementation of the Agreement and to consider any amendments proposed. All States which are members of the United Nations Economic and Social Commission for Asia and the Pacific shall be members of the Working Group.
2. The Working Group shall meet biennially. Any Party may also, by a notification addressed to the secretariat, request that a special meeting of the Working Group be convened. The secretariat shall notify all members of the Working Group of the request and shall convene a special meeting of the Working Group if not less than one third of the Parties signify their assent to the request within a period of four (4) months from the date of the notification by the secretariat.

Article 7

Procedures for amending the main text

1. The main text of the Agreement may be amended by the procedure specified in this Article.
2. Amendments to the Agreement may be proposed by any Party.
3. The text of any proposed amendment shall be circulated to all members of the Working Group by the secretariat at least forty-five (45) days before the Working Group meeting at which it is proposed for adoption.

4. An amendment shall be adopted by the Working Group by a two-thirds majority of the Parties present and voting. The amendment as adopted shall be communicated by the secretariat to the Secretary-General of the United Nations, who shall circulate it to all Parties for acceptance.

5. An amendment adopted in accordance with paragraph 4 of the present Article shall enter into force twelve (12) months after it has been accepted by two-thirds of the Parties. The amendment shall enter into force with respect to all Parties except those which, before it enters into force, declare that they do not accept the amendment. Any Party that has declared that it does not accept an amendment adopted in accordance with this paragraph may at any time thereafter deposit an instrument of acceptance of such amendment with the Secretary-General of the United Nations. The amendment shall enter into force for that State twelve (12) months after the date of deposit of the said instrument.

Article 8

Procedures for amending annex I

1. Annex I to the Agreement may be amended by the procedure specified in this Article.

2. For the purpose of Article 8, a 'directly concerned Party' is a Party in whose territory the subject of the proposed amendment is located.

3. Amendments which change a border station may be proposed only by a directly concerned Party after consulting with and obtaining the written consent of the neighbouring State which shares the border to which the subject of the amendment is connected.

4. Amendments that do not change a border station may be proposed by any directly concerned Party.

5. The text of any amendment proposed by any Party shall be circulated to all members of the Working Group by the secretariat at least forty-five (45) days before the Working Group meeting at which it is proposed for adoption.

6. An amendment shall be adopted by the Working Group by a majority of the Parties present and voting. The amendment as adopted shall be communicated by the secretariat to the Secretary-General of the United Nations, who shall circulate it to all Parties.

7. An amendment adopted in accordance with paragraph 6 of the present Article shall be deemed accepted if, during a period of six (6) months from the

date of the notification, less than one third of the Parties notifies the Secretary-General of the United Nations of their objection to the amendment.

8. An amendment accepted in accordance with paragraph 7 of the present Article shall enter into force for all Parties three (3) months after the expiry of the period of six (6) months referred to in paragraph 7 of the present Article.

Article 9

Procedures for amending annex II

1. Annex II to the Agreement may be amended by the procedure specified in this Article.

2. Amendments may be proposed by any Party.

3. The text of any proposed amendment shall be circulated to all members of the Working Group by the secretariat at least forty-five (45) days before the Working Group meeting at which it is proposed for adoption.

4. An amendment shall be adopted by the Working Group by a majority of the Parties present and voting. The amendment as adopted shall be communicated by the secretariat to the Secretary-General of the United Nations, who shall circulate it to all Parties.

5. An amendment adopted in accordance with paragraph 4 of the present Article shall be deemed accepted if during a period of six (6) months from the date of the notification, less than one third of the Parties notifies the Secretary-General of the United Nations of their objection to the amendment.

6. An amendment accepted in accordance with paragraph 5 of the present Article shall enter into force for all Parties three (3) months after the expiry of the period of six (6) months referred to in paragraph 5 of the present Article.

Article 10

Reservations

Reservations may not be made with respect to any of the provisions of the Agreement, except as provided in Article 13, paragraph 5.

Article 11

Withdrawal

Any Party may withdraw from the Agreement by written notification addressed to the Secretary-General of the United Nations. The withdrawal shall take effect twelve (12) months after the date of receipt by the Secretary-General of such notification.

Article 12

Suspension of validity

The operation of the Agreement shall be suspended if the number of Parties becomes less than eight (8) for any period of twelve (12) consecutive months. In such a situation the secretariat shall notify the Parties. The provisions of the Agreement shall again become operative if the number of Parties reaches eight (8).

Article 13

Settlement of disputes

1. Any dispute between two or more Parties which relates to the interpretation or application of the Agreement and which the Parties in dispute are unable to settle by negotiation or consultation shall be referred to conciliation if any of the Parties in dispute so requests and shall, to that end, be submitted to one or more conciliators selected by mutual agreement between the Parties in dispute. If the Parties in dispute fail to agree on the choice of conciliator or conciliators within three (3) months after the request for conciliation, any of those Parties may request the Secretary-General of the United Nations, to appoint a single independent conciliator to whom the dispute shall be submitted.
2. The recommendation of the conciliator or conciliators appointed in accordance with paragraph 1 of this Article, while not binding in character, shall become the basis of renewed consideration by the Parties in dispute.
3. By mutual agreement, the Parties in dispute may agree in advance to accept the recommendation of the conciliator or conciliators as binding.
4. Paragraphs 1, 2 and 3 of the present Article shall not be construed to exclude other measures for the settlement of disputes mutually agreed between the Parties in dispute.

5. Any State may, at the time of depositing its instrument of ratification, acceptance, approval or accession, deposit a reservation stating that it does not consider itself bound by the provisions of the present Article relating to conciliation. Other Parties shall not be bound by the provisions of the present Article relating to conciliation with respect to any Party which has deposited such a reservation.

Article 14

Limits to the application

1. Nothing in the Agreement shall be construed as preventing a Party from taking such action, compatible with the provisions of the Charter of the United Nations and limited to the exigencies of the situation, as it considers necessary for its external or internal security.

2. A Party shall make every possible effort to develop the Trans-Asian Railway Network consistent with the Agreement. However, nothing in the Agreement shall be construed as acceptance of an obligation by any Party to permit the movement of goods and passenger traffic across its territory.

Article 15

Annexes

Annexes I and II to the Agreement shall form an integral part of the Agreement.

Article 16

Secretariat

The United Nations Economic and Social Commission for Asia and the Pacific shall be designated the secretariat of the Agreement.

Article 17

Depositary

The Secretary-General of the United Nations shall be designated the depositary of the Agreement.

IN WITNESS WHEREOF, the undersigned, being duly authorized thereto, have signed the Agreement,

OPENED for signature on the tenth day of November two thousand and six at Busan, Republic of Korea, in a single copy in the Chinese, English and Russian languages, the three texts being equally authentic.

Annex I

TRANS-ASIAN RAILWAY NETWORK

The Trans-Asian Railway network consists of the railway lines of international importance indicated below.

The lines that form the basis for describing the Trans-Asian Railway network in each State are designated in bold with the origin and end stations and are then listed vertically. Lines branching off are described to the right of the junction station. Further branches are shown indented underneath this first branch. All lines are of equal importance within the Trans-Asian Railway Network.

When lines start or finish at a border point, the first or last stations on that line are preceded or followed by the indication in brackets of the name of the border station and the name of the neighbouring State directly concerned.

The names of stations that have specific functions on a line are followed by the indication of these functions in italics and brackets. Such functions include:

- (*border station*),
- (*break-of-gauge*),
- (*junction*),
- (*maritime connection*), and
- (*ferry terminals*).

Missing links are indicated in [square brackets].

Stations with container terminals to handle International Standards Organization (ISO) containers of at least 20-foot dimension in length and above are shown underlined.

LIST OF THE LINES IN THE TRANS-ASIAN RAILWAY NETWORK

ARMENIA

Ayrum – Niuvedi

(Sadakhlo, Georgia)

Ayrum (*border station*)

Gyumri (*junction*)

→ Akhuryan (*border station and break-of-gauge*) – (Dogu Kapi, Turkey)

Masis (*junction*)

→ Yerevan – Ijevan (*border station*) – (Barkhudarly, Azerbaijan)

↳ Gagarin – Martuni – [Jermuk – Kapan – Meghri (*border station*)]
– (Marand, Islamic Republic of Iran)

Yeraskh (*border station*)

(Belidag – Ordubad,
Azerbaijan)

Meghri

Niuvedi (*border station*)

(Agbent, Azerbaijan)

AZERBAIJAN

Yalama – Beyouk Kesik

(Samur, Russian Federation)

Yalama (*border station*)

Baku (*ferry terminal*)

→ (Ferry link to Caspian sea ports in *Islamic Republic of Iran, Kazakhstan, Russian Federation and Turkmenistan*)

Alyat (*junction*)

→ Ali Bairamli (*junction*) – Astara (*border station and break-of-gauge*)
– (Astara, Islamic Republic of Iran)

→ Ali Bairamli (*junction*) – Agbent (*border station*) – (Niuvedi-Meghri
(*border station*), Armenia) – Ordubad – Djulfa (*border station and
break-of-gauge*) – (Djulfa, Islamic Republic of Iran)

Akstafa

→ Barkhudarly (*border station*) – (Ijevan, Armenia)

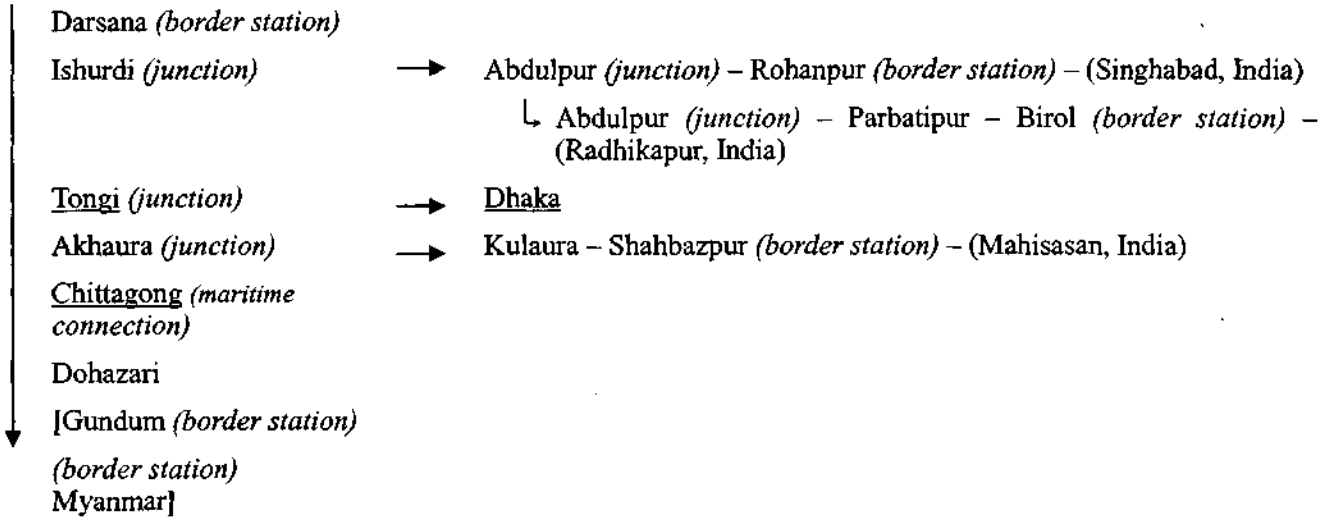
Beyouk Kesik (*border station*)

(Gardabani, Georgia)

BANGLADESH

Darsana – Gundum

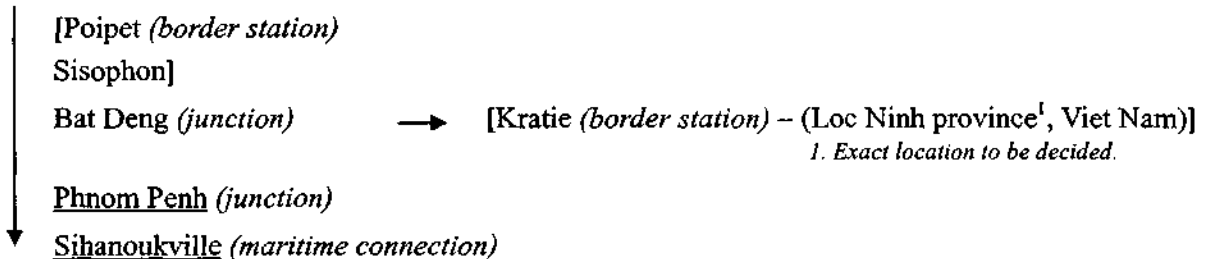
(Gede, India)



CAMBODIA

Poipet – Sihanoukville

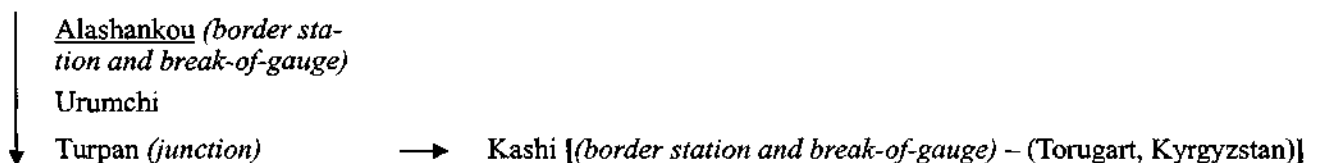
(Klong Luk, Thailand)



CHINA

Alashankou – Lianyungang

(Dostyk, Kazakhstan)



Lanzhou

Baoji (*junction*)

- Kunming (*junction*) – Xiangyun (*junction*) – Dali (*junction*) – [Kachang (*border station and break-of-gauge*) – (Myitkyina, Myanmar)]
 - ↳ [Xiangyun – Jinghong (*border station and break-of-gauge*) – (Boten, Lao PDR)]
 - ↳ Dali (*junction*) – [Rueli (*border station and break-of-gauge*) – (Muse, Myanmar)]
- Kunming (*junction*) – Hekou (*border station*) – (Lao Cai, Viet Nam)
- Kunming (*junction*) – Nanning (*junction*) – Guangzhou (*junction*)
 - ↳ Nanning (*junction*) – Hengyang (connects with Beijing-Shenzhen line)
 - ↳ Guangzhou (connects with Beijing-Shenzhen line)

Xian

Zhengzhou (*junction*)

- (connects with Beijing-Shenzhen line)

Xizhou (*junction*)

- (connects with Tianjin-Shanghai line)

Lianyungang (*maritime connection*)

Erenhot – Dandong

(Zamyn Uud, Mongolia)

Erenhot (*border station and break-of-gauge*)

Beijing (*junction*)

- (connects with Beijing-Shenzhen line)

Tianjin (*maritime connection*)

Shenyang (*junction*)

- (connects with Manzhouli-Dalian line)

Dandong (*border station*)

(Sinuiju, Democratic People's Republic of Korea)

Manzhouli – Dalian

(Zabaikalsk, Russian Federation)

Manzhouli (*border station and break-of-gauge*)

Harbin (*junction*)

- Suifenhe (*border station and break-of-gauge*) – (Grodokovo, Russian Federation)

Changchun (*junction*)

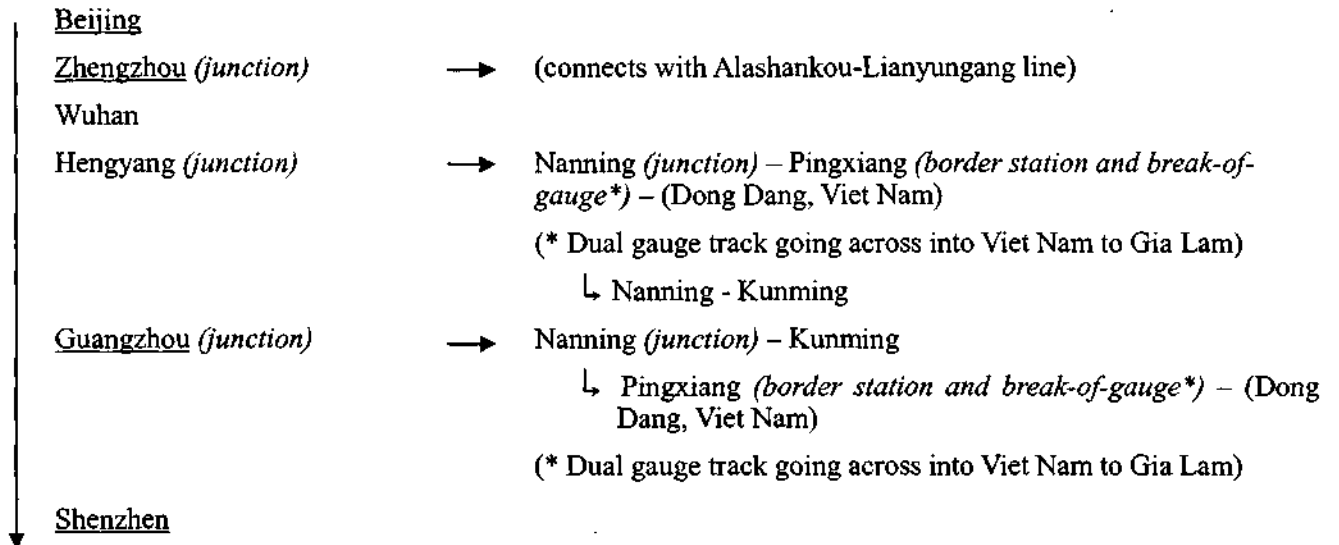
- Tumen (*border station*) – (Namyang, Democratic People's Republic of Korea)

Shenyang (*junction*)

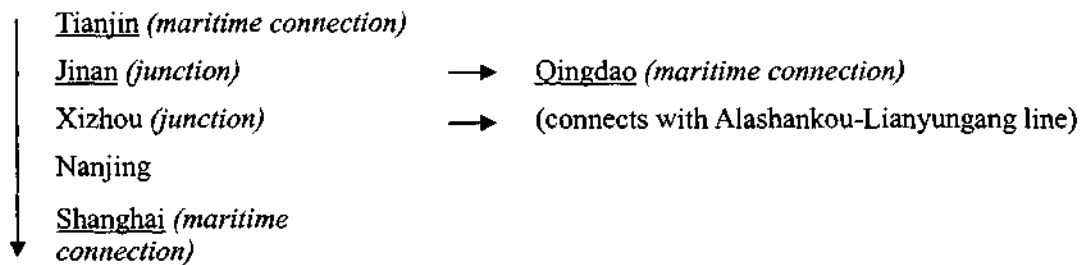
- (connects with Erenhot-Dandong line)

Dalian (*maritime connection*)

Beijing – Shenzhen

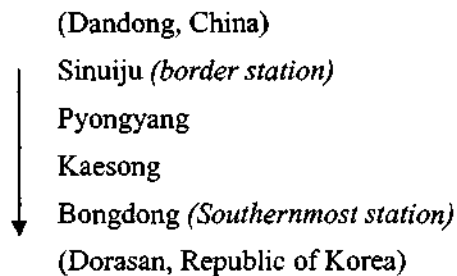


Tianjin – Shanghai



DEMOCRATIC PEOPLE'S REPUBLIC OF KOREA

Sinuiju – Kaesong



Tumangang – Kumgangsán

(Khasan, Russian Federation)

Tumangang (*junction, border station and break-of-gauge*) → Namyang (*border station*) – (Tumen, China)

Rajin (*junction*) → Rajin (*maritime connection*)

Chongjin (*junction*) → Namyang (*border station*) – (Tumen, China)

→ Chongjin (*maritime connection*)

Kowon

Wonsan

Haegumgang

Onjongri (*Southernmost station*)

(Jejin, Republic of Korea)

GEORGIA

Gantiadi – Gardabani

(Veseloe, Russian Federation)

Gantiadi (*border station*)

Senaki (*junction*) → Poti (*maritime connection*)

Samtredia (*junction*) → Batumi (*maritime connection*)

Tbilisi (*junction*) → Sadakhlo (*border station*) – (Ayrum, Armenia)

→ [Akhalkalaki (*border station and break-of-gauge*) – (Kars, Turkey)]

Gardabani (*border station*)

(Beyouk Kesik, Azerbaijan)

INDIA

Attari – Jiribam

(Wagah, Pakistan)

Attari (*border station*)

Dhandari Kalan

New Delhi (*junction*) → Mathura (*junction*) – Agra – Nagpur (*junction*) – Vijayawada (*junction*) – Chennai (*maritime connection*) – Jolarpettai (*junction*) – Madurai (*junction*) – Tuticorin (*maritime connection*)

↳ Mathura (*junction*) – Mumbai (*maritime connection*)

- ↳ Nagpur (junction) – Mumbai (maritime connection)
- ↳ Nagpur (junction) – Kolkata (maritime connection)
- ↳ Vijayawada (junction) – Visakhapatnam (maritime connection) – Kolkata (maritime connection)
- ↳ Jolarpettai (junction) – Mumbai (maritime connection)
- ↳ Madurai (junction) – Rameswaram (ferry terminal) – (Talaimannar, Sri Lanka)

- Kanpur (junction) → Raxaul (border station) – (Birgunj, Nepal)
- Mughalsarai
- Sitarampur (junction) → Raxaul (border station) – (Birgunj, Nepal)
- Kolkata (junction and maritime connection) → Haldia (maritime connection)
- Gede (border station)
- (Darsana, Shahbazpur, Bangladesh)
- Mahisasan (border station)
- Badarpur
- Jiribam (border station and break-of-gauge)
- [(Tamu, Myanmar)]

INDONESIA

Merak – Banyuwangi

- Merak (ferry terminal)
- Jakarta (junction and maritime connection) → Sukabumi – Padalarang – Cikampek (junction)
- Cikampek (junction) → Cirebon (junction) – Semarangtawang (junction) – Surabayapasarturi (maritime connection)
- ↳ Prupuk (junction) – Purwokerto – Kroya (junction)
- Bandung
- Gedebage
- Kroya (junction) → Purwokerto – Prupuk (junction) – Cirebon (junction)

Yogyakarta (<i>junction</i>)	→	[Magelang]
Solobalapan (<i>junction</i>)	→	Gundih – <u>Semarangtawang</u> (<i>junction</i>)
Kertosono (<i>junction</i>)	→	Wonokromo – Surabayakota
Malang		
Bangil	→	
↓ Banyuwangi (<i>ferry terminal</i>)		

[Banda Aceh] – Pangkalansusu – Rantauprapat

[Banda Aceh]		
Pangkalansusu		
Medan (<i>junction</i>)	→	<u>Belawan</u> (<i>maritime connection</i>)
Tebingtinggi (<i>junction</i>)	→	Siantar
Kisaran (<i>junction</i>)	→	Tanjungbalai
↓ Rantauprapat	→	[Payakumbuh]

Teluk Bayur – Muaro

<u>Teluk Bayur</u> (<i>maritime connection</i>)		
Bukitputus (<i>junction</i>)	→	Indarung
Padang		
Lubuk Alung (<i>junction</i>)	→	Naras
Padang Panjang (<i>junction</i>)	→	Bukittingi – Payakumbuh
Muarakalaban (<i>junction</i>)	→	Sawahlunto
↓ Muaro	→	[Lubuklinggau]

Lubuklinggau – Panjang

Lubuklinggau		
Muaraenim (<i>junction</i>)	→	Tanjung Enim
Prabumulih (<i>junction</i>)	→	<u>Kertapati</u>
Tanjungkarang (<i>junction</i>)	→	Tarahan
↓ Panjang (<i>ferry terminal</i>)		

IRAN (ISLAMIC REPUBLIC OF)

Razi – Sarakhs

(Kapikoy, Turkey)

Razi (*border station*)

Sufian (*junction*)

→ Jolfa (*border station and break-of-gauge*) – (Djulfa, Azerbaijan)

Tabriz

Miyaneh (*junction*)

Qazvin (*junction*)

→ [Rasht – Bandar-e-Anzali (*ferry terminal*) – Astara (*border station and break-of-gauge*)] – (Astara, Azerbaijan)

(Ferry link to Caspian sea ports in Azerbaijan, Kazakhstan, Russian Federation and Turkmenistan)

Tehran (*junction*)

→ Qom (*junction*) – Badrud (*junction*) – Meybod – Bafq (*junction*) – Kerman – [Bam – Fahraj] – Zahedan (*break-of-gauge*) – Mirjaveh (*border station*) – (Koh-i-Taftan, Pakistan)

↳ Qom (*junction*) – Arak (*junction*) – Ahvaz (*junction*) – Khorranshahr (*maritime connection*)

↳ [Arak (*junction*) – Kermanshah – Khosravi (*border station*) – (Khaneghein, Iraq)]

↳ Ahvaz – Bandar-Emam (*maritime connection*)

↳ Badrud (*junction*) – Esfahan

↳ Bafq (connects with Sarakhs – Bandar Abbas line)

Garmsar (*junction*)

→ Bandar-e-Amirabad (*ferry terminal*) (ferry link to Caspian sea ports in Azerbaijan, Kazakhstan, Russian Federation and Turkmenistan)

Shahrood

Kashmar (*junction*)

→ (connects with Sarakhs – Bandar Abbas line)

Fariman (*junction*)

→ Mashhad

Sarakhs (*border station and break-of-gauge*)

(Sarakhs, Turkmenistan)

Sarakhs – Bandar Abbas

(Sarakhs, Turkmenistan)

Sarakhs (*border station and break-of-gauge*)

Fariman (*junction*)

→ Mashhad

Kashmar (*junction*)

→ (connects with Razi-Sarakhs line)

Torbat Heidarieh

→ [Sangan (*border station*) – Herat (*border station*) – (Afghanistan)]

Tabas

Chadormalu (*junction*)

→ Ardakan

Bafq (*junction*)

→ (connects with Qom-Mirjaveh line)

↓ Bandar Abbas (*maritime connection*)

KAZAKHSTAN

Petropavlosk – Dostyk

(Utyak, Russian Federation)

Petropavlosk (*border station*)

Kokshetav

Astana (*junction*)

→ Ecil – Tobol (*junction and border station*) – (Kartaly, Russian Federation)

↳ Tobol (*junction*) – Aiteke-bi – Nikeltau – Kandagach (*junction*)

→ (connects with Semiglavii March-Aktogai line)

Karaghandy

Mointy (*junction*)

→ Chu (*junction*)

Aktogai (*junction*)

→ Semipalatinsk – Aul (*border station*) – (Lokot, Russian Federation)

→ (connects with Semiglavii Mar-Aktogai line)

↓ Dostyk (*border station and break-of-gauge*)

(Alashankou, China)

Semiglavii Mar – Aktogai

(Ozinki, Russian Federation)

Semiglavii Mar

Uralsk (*border station*)

Iletsk I (*border station*), Russian Federation → (Orenburg, Russian Federation)

Aktobe

Kandagach (*junction*) → Nikeltau (*border station*) – (Orsk, Russian Federation)
↳ Nikeltau (*border station*) – Aiteke-bi – Tobol (*junction*) – Astana (*junction*)

→ (connects with Petropavlosk-Dostyk line)

→ Makat (*junction*) – Ganyushkino – (Aksaraiskaya, Russian Federation)

↳ Makat (*junction*) – Beyneu (*junction*) – Oazis – (Karakalpakia, Uzbekistan)

↳ Beyneu (*junction*) – Aktau port (*ferry terminal*) – (Ferry link to Caspian sea ports in Azerbaijan, Islamic Republic of Iran, Russian Federation and Turkmenistan)

Tyuratam

Kzyl-Orda

Arys (*junction*) → Sary-Agash (*border station*) – (Keles, Uzbekistan)

Chimkent

Djambul

Lugovaya (*junction and border station*) → (Bishkek, Kyrgyzstan)

Chu (*junction*) → Mointy (*junction*)

Almaty - I

Ushtobe

Aktogai (*junction*) → (connects with Petropavlosk-Dostyk line)

KYRGYZSTAN

Bishkek – Kochkor

(Lugovaya, Kazakhstan)

↓
Alamedin
Balykchi
↓ [Kochkor]

[Kochkor – Torugart]

↓ [Kochkor
Kara-Keche
Arpa (*junction*) → [Missing link] – Osh (*station Karasu*) – Jalal-Abad (*border station*) – (Andizhan, Uzbekistan)
↓ Torugart (*border station and break-of-gauge*)
(Kashi, China)]

Border with Uzbekistan – Osh

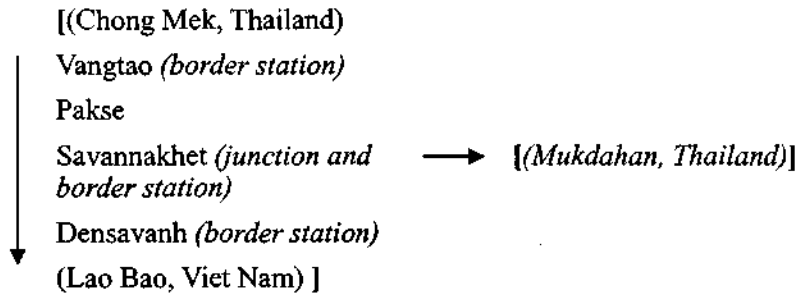
↓ (Andizhan, Uzbekistan)
↓ Osh (*station Karasu*)
(*border station*)

LAO PEOPLE'S DEMOCRATIC REPUBLIC

[Thanaleng – Mu Gia]

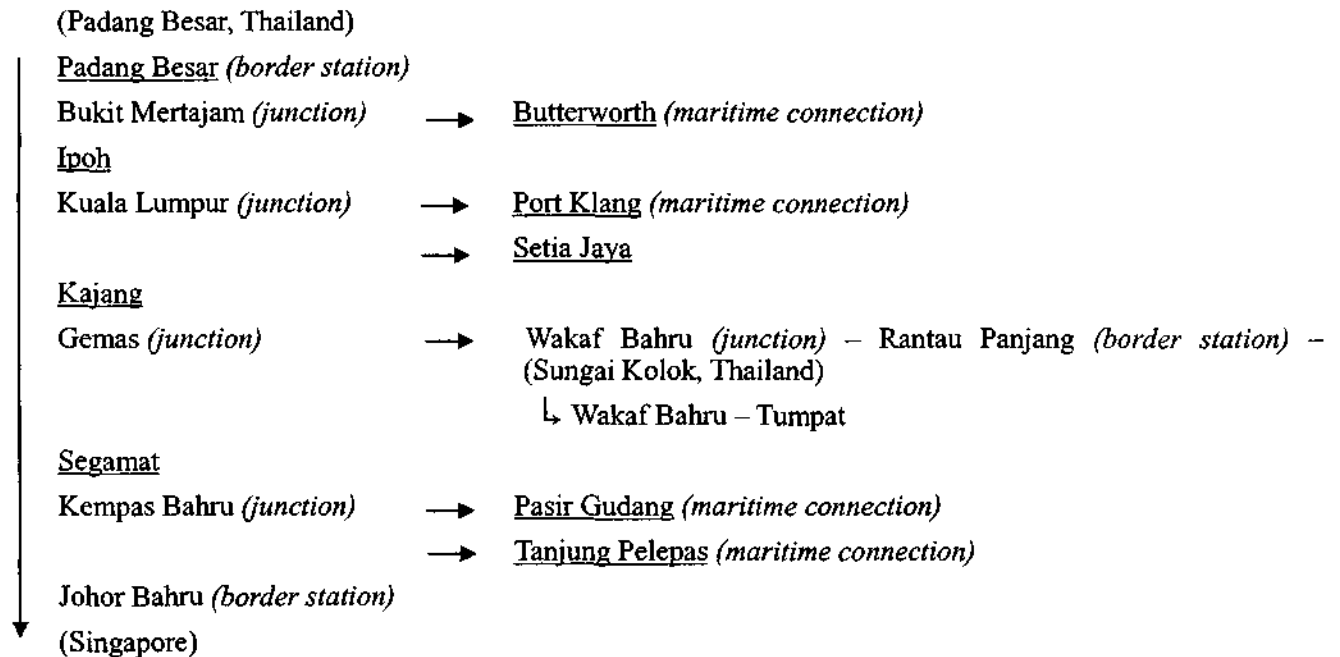
↓ [(Nongkhai, Thailand)
Thanaleng (*border station*)
Vientianne (*junction*) → [Boten (*border station*) – (Jinghong, China)]
Thakhek (*junction and border station*) → [Nakhon Phanom, Thailand]
↓ Mu Gia (*border station*)
(Mu Gia, Viet Nam)]

[Vangtao – Densavanh]



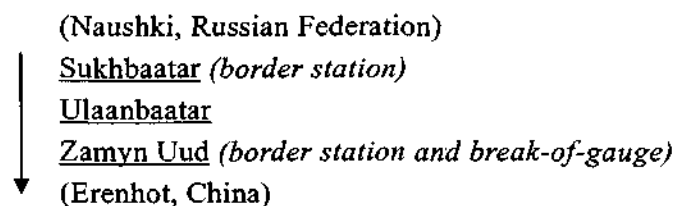
MALAYSIA

Padang Besar – Johor Bahru



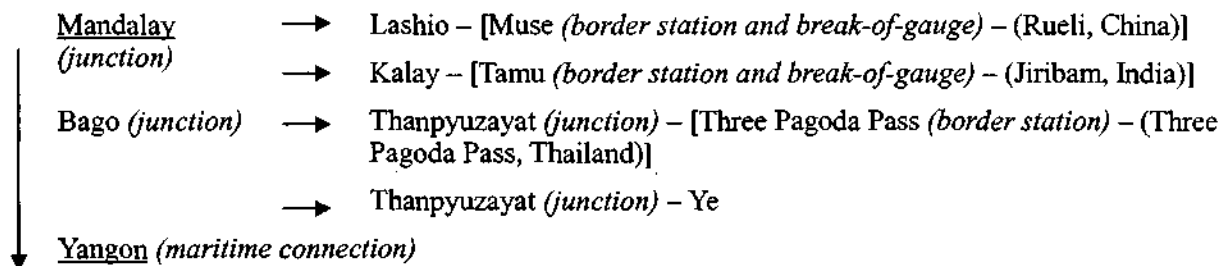
MONGOLIA

Sukhbaatar – Zamyn Uud



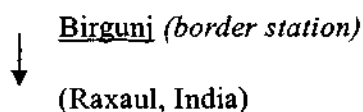
MYANMAR

Mandalay – Yangon

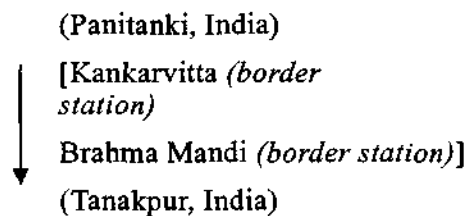


NEPAL

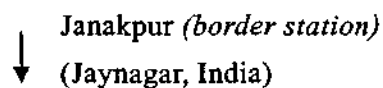
Birgunj – Border with India



[Kakarvitta – Brahma Mandi]



Janakpur – Border with India



PAKISTAN

Koh-i-Taftan – Wagah

(Mirjaveh, Islamic Republic of Iran)

Koh-i-Taftan (<i>border station</i>)	
Dalbandin (<i>junction</i>)	→ [Gwadar (<i>maritime connection</i>)]
Spezand (<i>junction</i>)	→ <u>Quetta</u> – Bostan – Chaman (<i>border station</i>) – (Spinbuldak, Afghanistan)
Rohri (<i>junction</i>)	→ Hyderabad (<i>junction</i>) – <u>Karachi</u> (<i>maritime connection</i>) – <u>Qasim</u> (<i>maritime connection</i>) ↳ Hyderabad (<i>junction</i>) – Mirpurkhas – Khokropar (<i>border station</i>)
Lodhran (<i>junction</i>)	→ Sher Shah (<i>junction</i>) – Khanewal – <u>Faisalabad</u> – Shahdara (<i>junction</i>) (connects with Lahore-Peshawar line) → Sher Shah – Kundian – Attock (<i>junction</i>) – <u>Peshawar</u> (<i>border station</i>) – (Afghanistan)
Khanewal (<i>junction</i>)	→ Shahdara (connects with Lahore-Peshawar line)
<u>Multan</u>	
<u>Lahore</u> (<i>junction</i>)	
Wagah (<i>border station</i>)	
(Attari, India)	

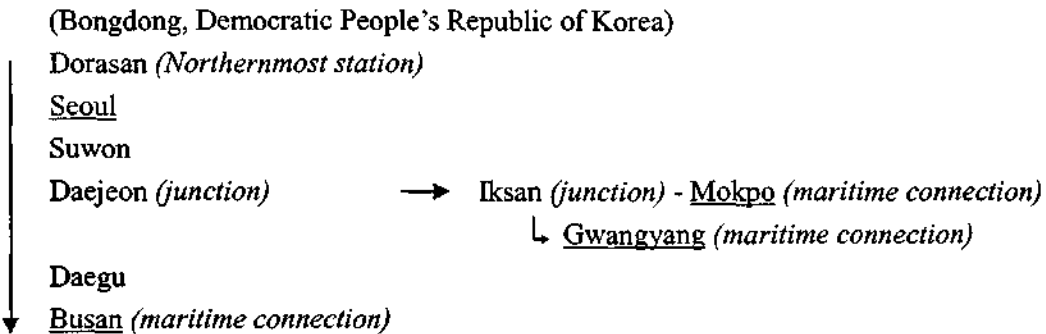
Peshawar – Lahore

(Afghanistan)

<u>Peshawar</u> (<i>border station</i>)	
Attock (<i>junction</i>)	→ Sher Shah – Lodhran (connects with Koh-i-Taftan – Wagah line)
<u>Islamabad</u>	
<u>Rawalpindi</u>	
Shahdara (<i>junction</i>)	→ Khanewal – Lodhran (connects with Koh-i-Taftan – Wagah line)
<u>Lahore</u>	

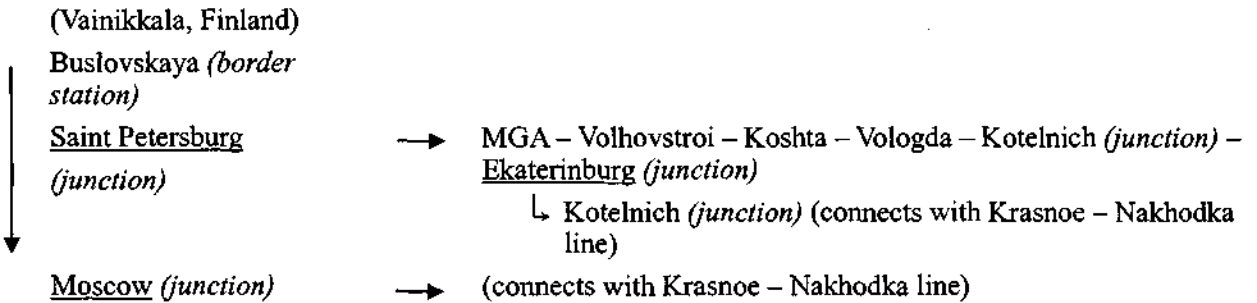
REPUBLIC OF KOREA

Dorasan – Busan

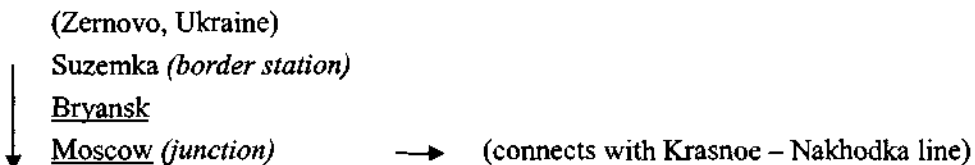


RUSSIAN FEDERATION

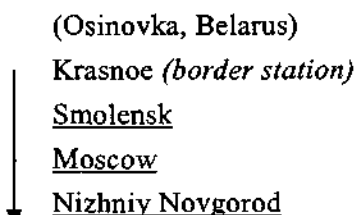
Buslovskaya – Moscow



Suzemka – Moscow



Krasnoe – Nakhodka



<p>Kotelnich (<i>junction</i>)</p> <p><u>Ekaterinburg</u> (<i>junction</i>)</p>	<p>→ <u>Saint Petersburg</u></p> <p>→ Kurgan – <u>Utyak</u> (<i>border station</i>) – (Petropavlosk, Kazakhstan)</p> <p>→ Chelyabinsk – Kartaly (<i>junction and border station</i>) – (Tobol, Kazakhstan)</p> <p style="padding-left: 20px;">↳ Kartaly (<i>junction and border station</i>) – Orsk (<i>junction and border station</i>) – (Nikeltau, Kazakhstan)</p> <p style="padding-left: 20px;">↳ Orsk (<i>junction and border station</i>) – Orenburg – (Ilets, Russian Federation) – (Aktyubinsk, Kazakhstan)</p>
<p>Tatarskaya (<i>junction</i>)</p> <p><u>Novosibirsk</u> (<i>junction</i>)</p> <p><u>Krasnoyarsk</u></p> <p><u>Irkutsk</u></p> <p>Ulan Ude</p> <p>Zaudinski (<i>junction</i>)</p> <p>Karimskaya (<i>junction</i>)</p> <p>Ussurijsk (<i>junction</i>)</p> <p>Baranovski (<i>junction</i>)</p> <p>Uglovaya (<i>junction</i>)</p> <p><u>Nakhodka</u> (<i>junction, maritime connection</i>)</p>	<p>→ <u>Lokot</u> (<i>junction and border station</i>) – (Aul, Kazakhstan)</p> <p>→ <u>Lokot</u> (<i>junction and border station</i>) – (Aul, Kazakhstan)</p> <p>→ <u>Naushki</u> (<i>border station</i>) – (Sukhbaatar, Mongolia)</p> <p>→ <u>Zabaykalsk</u> (<i>border station and break-of-gauge</i>) – (Manzhouli, China)</p> <p>→ <u>Grodekovo</u> (<i>border station and break-of-gauge</i>) – (Suifenhe, China)</p> <p>→ <u>Khasan</u> (<i>border station and break-of-gauge</i>) – (Tumangang, Democratic People's Republic of Korea)</p> <p>→ <u>Vladivostok</u> (<i>maritime connection</i>)</p> <p>→ <u>Vostochny</u> (<i>maritime connection</i>)</p>

Moscow – Samur

<p><u>Moscow</u></p> <p><u>Ryazan</u></p> <p>Kochetovka (<i>junction</i>)</p> <p>Gryazi (<i>junction</i>)</p> <p>Liski</p> <p>Likhaya (<i>junction</i>)</p> <p><u>Volgograd</u> (<i>junction</i>)</p>	<p>→ Rtisthevo – Saratov – Ozinki (<i>border station</i>) – (Semiglavii Mir, Kazakhstan)</p> <p>→ Volgograd</p> <p>→ <u>Rostov – Krasnodar</u> (<i>junction</i>) – Veseloe (<i>border station</i>) – (Gantiadi, Georgia)</p> <p style="padding-left: 20px;">↳ <u>Krasnodar</u> (<i>junction</i>) – Krimskaya (<i>junction</i>) – <u>Novorossiisk</u> (<i>maritime connection</i>)</p> <p style="padding-left: 20px;">↳ Krimskaya (<i>junction</i>) – Kavkaz (<i>maritime connection and ferry terminal</i>)</p> <p>→ Gryazi</p>
---	---

↓	<u>Aksarayskaya</u> (<i>junction and border station</i>)	→	(Ganyushkino, Kazakhstan)
	<u>Astrakhan</u>	→	Port Olya (<i>ferry terminal</i>) – (ferry links to Caspian sea ports in Azerbaijan, Islamic Republic of Iran, Kazakhstan and Turkmenistan)
	<u>Makhachkala</u> (<i>border station and ferry terminal</i>)	→	(Ferry links to Caspian sea ports in Azerbaijan, Kazakhstan and Turkmenistan)
	<u>Samur</u> (<i>border station</i>) (Yalama, Azerbaijan)		

SINGAPORE

Woodlands –

↓	(Johor Bahru, Malaysia)
	Woodlands (<i>border station</i>)

SRI LANKA

Kataragama – Katunayake

↓	[Kataragama Hambantota Matara] <u>Colombo</u> (<i>maritime connection</i>) Sri Jayewardenepura Kotte Katunayake
---	--

Colombo – Talaimannar

↓	<u>Colombo</u> (<i>maritime connection</i>)		
	Kurunegala (<i>junction</i>)	→	[Dambulla]
	Maho (<i>junction</i>)	→	Trincomalee (<i>maritime connection</i>)
	Talaimannar (<i>ferry terminal</i>)	→	(Rameswaram, India)

TAJIKISTAN

Nau – Kanibadam

(Bekabad, Uzbekistan)
Nau (*border station*)
Khudjand
Kanibadam (*junction and border station*) → Isfara
(Suvanabad, Uzbekistan)

Pakhtaabad – Yangi Bazar

(Sariasiya, Uzbekistan)
Pakhtaabad (*border station*)
Regar
Dushanbe II
Dushanbe I
Yangi Bazar

Khoshad – Kulyab

(Amuzang, Uzbekistan)
Khoshad (*border station*)
Kurgan Tube (*junction*) → Yavan
Kulyab

THAILAND

Nongkhai – Padang Besar

(Thanaleng, Lao People's Democratic Republic)
Nongkhai (*border station*)
Bua Yai (*junction*) → [Nakhon Phanom (*border station*) – (Thakhek, Lao People's Democratic Republic)]
→ [Mukdahan (*border station*) – (Savannakhet, Lao People's Democratic Republic)]
Kaeng Khoi (*junction*) → Nakhonratchasima – Ubonratchathani – [Chong Mek (*border station*) – (Pakse, Lao People's Democratic Republic)]

<p>Banphachi (<i>junction</i>)</p> <p><u>Bangkok</u> – Bang Sue station (<i>junction</i>)</p> <p>Nong Pla Duk (<i>junction</i>)</p> <p>Hat Yai (<i>junction</i>)</p> <p>Padang Besar (<i>border station</i>)</p> <p>(Padang Besar, Malaysia)</p>	<p>→ Nakhonsawan (<i>junction</i>) – Denchai (<i>junction</i>) – Chiangmai</p> <p>↳ [Nakhonsawan – Mae Sod (<i>border station</i>) – (Myawadi, Myanmar)]</p> <p>↳ [Denchai – Chiangrai – Mae Sai (<i>border station</i>) – (Tachilek, Myanmar)]</p> <p>→ <u>Ladkrabang</u> – Chachoengsao (<i>junction</i>) – Si Racha (<i>junction</i>) – Kao Chi Chan (<i>junction</i>) – Sattahip (<i>maritime connection</i>)</p> <p>→ Chachoengsao (<i>junction</i>) – Aranyaprathet – Klong Luk (<i>border station</i>) – [(Poipet, Cambodia)]</p> <p>→ Si Racha – <u>Laemchabang</u> (<i>maritime connection</i>)</p> <p>→ Kao Chi Chan – <u>Map Ta Put</u> (<i>maritime connection</i>)</p> <p>→ Namtok – [Three Pagoda Pass (<i>border station</i>) – (Thanpyuzayat, Myanmar)]</p> <p>→ Sungai Kolok (<i>border station</i>) – (Rantau Panjang, Malaysia)</p>
--	--

TURKEY

Kapikule – Kapikoy

<p>(Bulgaria, Europe)</p> <p>Kapikule (<i>border station</i>)</p> <p><u>Istanbul</u></p> <p>Eskisehir (<i>junction</i>)</p> <p><u>Ankara</u></p> <p>Kalin (<i>junction</i>)</p> <p>Sivas</p> <p>Cetinkaya (<i>junction</i>)</p> <p>Malatya (<i>junction</i>)</p> <p>Tatvan – Van (ferry crossing)</p> <p>Kapikoy (<i>border station</i>)</p> <p>(Razi, Islamic Republic of Iran)</p>	<p>→ Alayunt – Balikesir – <u>Izmir</u> (<i>border station</i>)</p> <p>→ <u>Samsun</u> (<i>maritime connection</i>)</p> <p>→ Kars (<i>junction</i>) – Dogukapi (<i>border station and break-of-gauge</i>) – (Akhuryan, Armenia)</p> <p>→ [Kars (<i>junction, border station and break-of-gauge</i>) – (Akhalkalaki, Georgia)]</p> <p>→ Topprakale (<i>junction</i>) – Adana – <u>Mersin</u> (<i>maritime connection</i>)</p> <p>→ Topprakkale – <u>Iskenderun</u> (<i>maritime connection</i>)</p>
--	--

TURKMENISTAN

Turkmenbashi – Turkmenabad

(Baku, Azerbaijan)

Turkmenbashi (*ferry terminal*)

→ (Ferry link to Caspian sea ports in *Azerbaijan, Islamic Republic of Iran, Kazakhstan and Russian Federation*)

Ashgabat

Tenzhen

Mari (*junction*)

→ Parakhat – Sarakhs (*border station and break-of-gauge*) – (Sarakhs, *Islamic Republic of Iran*)

Turkmenabad (*junction and border station*)

→ Gazodjak (*border station*) – (Pitnyak – K.P.449, *Uzbekistan*) – Dashowuz – Takhyatash (*border station*) – (*Uzbekistan*)

(Khodchadavlet, *Uzbekistan*)

UZBEKISTAN

Keles – Khodchadavlet

(Sari-Agash, *Kazakhstan*)

Keles (*border station*)

Tukumachi (*junction*)

→ Ozodlik – [Angren – Khalkobad] – Pap (*junction*) – Kokand

Sirdarinskaya

Khavast (*junction*)

→ Bekabad (*border station*) – (Nau – Kanibadam, *Tajikistan*) – Suvanabad (*border station*) – Kokand (*junction*) – Margilan – Andizhan (*border station*) – (Osh, *Kyrgyzstan*)

↳ Kokand (*junction*) – Pap (*junction*) – Namangan

Samarkand

Ulugbek

Navoi (*junction*)

→ Tinchlik – Uchkuduk – Nukus – Kungrad – Karakalpakia (*border station*) – (Oasis, *Kazakhstan*)

Bukhara (*junction*)

→ Karshi (*junction*) – Tashguzar (*junction*) – [Dekhanabad – Darband] – Boysun – Kumkurgran (*junction*) – Sariasiya (*border station*) – (Pakhtaabad, *Tajikistan*)

↳ Karshi (*junction*) – RZD 154 (*border station*) – (Talimarjan – Kerkichi (*junction*) – Kelif, *Turkmenistan*) – Termez (*junction*) – Galaba (*border station*) – (Khairaton, *Afghanistan*)

↳ Termez (*junction*) – Kumkurgran (*junction*) – Sariasiya (*border station*) – (Pakhtaabad, *Tajikistan*)

Khodchadavlet (*border station*)

(Turkmenabad, *Turkmenistan*)

VIET NAM

Lao Cai – Ho Chi Minh City

(Hekou, China)	
<u>Lao Cai</u> (<i>border station</i>)	
Dong Anh (<i>junction</i>)	→ Luu Xa – Quan Trieu
<u>Yên Viên</u> (<i>junction</i>)	→ (connects with Hanoi – Dong Dang line)
Gialam (<i>junction</i>)	→ <u>Haiphong</u> (<i>maritime connection</i>)
<u>Hanoi</u>	
Tan Ap (<i>junction</i>)	→ [Mu Gia (<i>border station</i>) – (Lao People’s Democratic Republic)]
	→ [Vung Ang (<i>maritime connection</i>)]
Danang	
<u>Ho Chi Minh City</u> (<i>junction</i>)	→ [Vung Tau (<i>maritime connection</i>)]
	→ [Loc Ninh province ¹ (<i>border station</i>) – (Kratie, Cambodia)]
	1. Exact location to be decided.

Hanoi – Dong Dang

<u>Hanoi</u>	
Gialam (<i>junction</i>)	
<u>Yên Viên</u> (<i>junction</i>)	→ (connects with Lao Cai-Ho Chi Minh City line)
Lim (<i>junction</i>)	→ Pha Lai (<i>junction</i>) – Halong (<i>maritime connection</i>)
Kep (<i>junction</i>)	→ Halong – Cai Lan (<i>maritime connection</i>)
	→ Luu Xa – Quan Trieu
<u>Dong Dang</u> (<i>border station</i>)	
(Pingxiang, China)	

Annex II

GUIDING PRINCIPLES RELATING TO TECHNICAL CHARACTERISTICS OF THE TRANS-ASIAN RAILWAY NETWORK

1. General

The development of the Trans-Asian Railway network, as defined in Annex I of the Agreement, shall be guided by the following principles relating to technical characteristics. Parties shall make every possible effort to conform to these principles both in constructing new rail sections and upgrading and modernizing existing ones.

2. Line capacity

Railway lines of international importance must provide adequate capacity so as to allow efficient, reliable and economical movement of rail services for goods and passengers.

3. Vehicle loading gauge

Given that the Trans-Asian Railway network will be an important component in the definition of an integrated international intermodal transport network for countries of the ESCAP region, the existing lines of the network should be, wherever necessary, upgraded and future lines should be developed so as to provide unhindered movements of ISO containers of at least 20-foot dimension in length and above.

4. Interoperability

Technical requirements should ensure seamless transport of international goods and containers along railway lines of international importance. Accordingly, railway lines and related infrastructure and equipment should meet international requirements, including those for the transport and transfer of heavy trains carrying goods such as, inter alia, petroleum products, coal, mineral ores, cement and grain.

Parties should take into consideration technical requirements of neighbouring countries, as well as other countries through which railway lines of international importance pass, and endeavour to upgrade their lines so as to remove technical restrictions and ensure interoperability between railways.

Where gauge continuity permits, or is likely to result from constructing missing sections across borders, specific issues arise as regards the compatibility of rolling stock used in international transport, including braking systems and couplings. In this respect, the efficiency of railway operations across borders requires the use of air-braked rolling stock and compatible coupling systems.

For reference, the gauges of the Trans-Asian Railway network are as follows:

Railway gauge of TAR member countries (mm)				
1,000	1,067	1,435	1,520	1,676
1. Bangladesh ¹	Indonesia	1. China ²	1. Armenia	1. Bangladesh ¹
2. Cambodia		2. Democratic People's Republic of Korea	2. Azerbaijan	2. India
3. Lao People's Democratic Republic		3. Republic of Korea	3. Georgia	3. Nepal
4. Malaysia		4. Islamic Republic of Iran	4. Kazakhstan	4. Pakistan
5. Myanmar		5. Turkey	5. Kyrgyzstan	5. Sri Lanka
6. Singapore ³			6. Mongolia	
7. Thailand			7. Russian Federation	
8. Viet Nam ⁴			8. Tajikistan	
			9. Turkmenistan	
			10. Uzbekistan	

Potential members of TAR: Japan (1,067 mm gauge) and the Philippines (1,067 mm gauge).

¹ Part of railway network of the country.

² Features also a line (from/to Viet Nam) of 1,000 mm gauge.

³ Service provided by railways of Malaysia.

⁴ Features also lines of 1,435 mm gauge and dual 1,000/1,435 mm gauge.

5. Standards for container terminals

International intermodal traffic requires efficient container terminals. The international container terminals along the lines of the Trans-Asian Railway network must:

- be located as close as possible to the main trunk line so that no time is lost entering and exiting the terminal;

- be set aside from other yards so that their operations are not hampered by other shunting movements;
- offer easy access to road vehicles so as to guarantee reliability of the road-rail interface;
- have track of sufficient length at loading/unloading area to reduce the need for shunting;
- be equipped with equipment comprising of gantry cranes, straddle-carriers, top-lifters and/or reach-stackers able to handle ISO containers of at least 20-foot dimension in length;
- make provisions for possible expansion;
- offer Customs facilities for the clearance of goods.

МЕЖПРАВИТЕЛЬСТВЕННОЕ СОГЛАШЕНИЕ ПО СЕТИ ТРАНСАЗИАТСКИХ ЖЕЛЕЗНЫХ ДОРОГ



**Организация Объединенных Наций
2006**



Межправительственное соглашение по сети Трансазиатских железных дорог

Договаривающиеся Стороны,

сознавая необходимость стимулирования и развития международных железнодорожных перевозок в Азии и между Азией и соседними регионами,

учитывая ожидаемое увеличение международных перевозок пассажиров и грузов вследствие расширения международной торговли в ходе происходящего процесса глобализации,

напоминая о сотрудничестве между членами Экономической и социальной комиссии для Азии и Тихого океана Организации Объединенных Наций в деле формирования и введения в эксплуатацию сети Трансазиатских железных дорог,

полагая, что для укрепления связей и развития международной торговли и туризма между членами Экономической и социальной комиссии для Азии и Тихого океана Организации Объединенных Наций необходимо развивать сеть Трансазиатских железных дорог, включая станции и контейнерные терминалы международного значения, в соответствии с требованиями к международным перевозкам и охране окружающей среды,

учитывая также роль железнодорожного транспорта как важного компонента оперативной и эффективной международной сети интермодальных перевозок, особенно в удовлетворении специфических потребностей не имеющих выхода к морю и транзитных стран,

договорились о нижеследующем:

Статья 1

Определение железнодорожных линий международного значения

Для целей Межправительственного соглашения по сети Трансазиатских железных дорог ("Соглашения") термин «железнодорожные линии международного значения», применяемый в приложении I относится к:

- a) железнодорожным линиям, используемым в настоящее время для регулярных международных перевозок;
- b) железнодорожным линиям как действующим, строящимся, так и планируемыми, предназначенным к использованию для регулярных международных перевозок;
- c) паромным переправам, обеспечивающим непрерывные перевозки по морям или озерам между терминалами в разных государствах или внутри одного государства;

d) пограничным переходам, пунктам стыковки железных дорог с разной шириной колеи, паромным терминалам и соединенным с железной дорогой контейнерным терминалам, на которых предусмотрены возможности/услуги по таможенной очистке грузов.

Статья 2

Утверждение сети Трансазиатских железных дорог

Договаривающиеся Стороны, ("Стороны") с этой целью утверждают железнодорожные линии международного значения, перечисленные в приложении I к Соглашению в качестве скоординированного плана развития железнодорожных линий международного значения, который они намерены выполнять в рамках своих внутригосударственных программ.

Статья 3

Развитие сети Трансазиатских железных дорог

Линии сети Трансазиатских железных дорог приводятся в соответствие с основными положениями, касающимися технических характеристик, изложенными в приложении II к Соглашению.

Статья 4

Процедура подписания и получения статуса его участника

1. Соглашение открыто для подписания государствами, которые являются членами Экономической и социальной комиссии для Азии и Тихого океана Организации Объединенных Наций, с 10 по 11 ноября 2006 года в Пусане, Республика Корея, а затем с 16 ноября 2006 года по 31 декабря 2008 года в Центральных учреждениях Организации Объединенных Наций в Нью-Йорке.

2. Эти государства могут стать Сторонами Соглашения путем:

a) подписания с условием ратификации, принятия или утверждения, за которым следует ратификация, принятие или утверждение; или.

b) присоединения.

3. Ратификация, принятие, утверждение или присоединение осуществляется путем сдачи на хранение Генеральному секретарю Организации Объединенных Наций документа, составленного в должной форме.

Статья 5

Вступление в силу

1. Соглашение вступает в силу на девятый день с того дня, в который правительства по крайней мере восьми (8) государств согласятся быть участниками Соглашения в соответствии с пунктами 2 и 3 статьи 4.

2. В отношении каждого государства, которое сдаст на хранение документ о ратификации, принятии, утверждении или присоединении после даты, начиная с которой удовлетворяются условия вступления Соглашения в силу, Соглашение вступает в силу для этого государства по истечении девяноста (90) дней со дня сдачи им на хранение этого документа.

Статья 6

Рабочая группа по сети Трансазиатских железных дорог

1. Для рассмотрения хода осуществления Соглашения и для рассмотрения любых предлагаемых поправок Экономическая и социальная комиссия для Азии и Тихого океана Организации Объединенных Наций создает Рабочую группу по Трансазиатским железным дорогам ("Рабочую группу"). Членами Рабочей группы являются все государства-члены Экономической и социальной комиссии для Азии и Тихого океана Организации Объединенных Наций.

2. Рабочая группа проводит свои совещания один раз в два года. Любая Сторона может также, посредством уведомления, адресованного секретариату, обратиться с просьбой созвать специальное совещание Рабочей группы. Секретариат уведомляет всех членов Рабочей группы о поступившей просьбе и созывает специальное совещание Рабочей группы, если не менее одной трети Сторон дают знать о своем согласии с просьбой в течение периода четырех (4) месяцев со дня уведомления секретариатом.

Статья 7

Процедура внесения поправок в основной текст

1. В основной текст Соглашения могут вноситься поправки в соответствии с процедурами, указанными в настоящей статье.

2. Поправки к Соглашению могут предлагаться любой Стороной.

3. Текст любой предлагаемой поправки распространяется секретариатом среди всех членов Рабочей группы по крайней мере за сорок пять (45) дней до совещания Рабочей группы, на котором ее предлагается утвердить.

4. Поправка утверждается Рабочей группой большинством в две трети присутствующих и участвующих в голосовании Сторон. Утвержденная поправка направляется секретариатом Генеральному секретарю Организации Объединенных Наций, который распространяет ее среди всех Сторон для ее принятия.

5. Поправка, утвержденная в соответствии с пунктом 4 настоящей статьи, вступает в силу через двенадцать (12) месяцев после принятия ее двумя третями Сторон. Поправка вступает в силу в отношении всех Сторон, за исключением тех, которые перед вступлением ее в силу заявили о том, что они не принимают эту поправку. Любая Сторона, заявившая о

том, что она не принимает поправку, утвержденную в соответствии с настоящим пунктом, может в любое время после этого передать на хранение документ о принятии такой поправки Генеральному секретарю Организации Объединенных Наций. Поправка вступает в силу в отношении этого государства через двенадцать (12) месяцев со дня передачи указанного документа на хранение.

Статья 8

Процедура внесения поправок в приложение I

1. В приложение I к Соглашению могут вноситься поправки в соответствии с процедурой, предусмотренной в настоящей статье.
2. Для целей статьи 8, "непосредственно заинтересованной Стороной" является Страна, на территории которой находится предмет поправки.
3. Поправки, изменяющие пограничную станцию, могут предлагаться только непосредственно заинтересованной Стороной после консультации с приграничным государством, с которым связан предмет поправки, и после обеспечения письменного согласия этого государства.
4. Поправки, которые не изменяют пограничную станцию, могут предлагаться любой непосредственно заинтересованной Стороной.
5. Текст поправки, предлагаемой любой Стороной, распространяется секретариатом среди всех членов Рабочей группы по крайней мере за сорок пять (45) дней до совещания Рабочей группы, на котором ее предлагается утвердить.
6. Поправка утверждается Рабочей группой большинством присутствующих и участвующих в голосовании Стран. Утвержденная поправка направляется секретариатом Генеральному секретарю Организации Объединенных Наций, который распространяет ее среди всех Стран.
7. Поправка, утвержденная в соответствии с положениями пункта 6 настоящей статьи, считается принятой, если в течение шести (6) месяцев со дня уведомления менее одной трети Стран представляет Генеральному секретарю Организации Объединенных Наций свои возражения против этой поправки.
8. Поправка, принятая в соответствии с пунктом 7 настоящей статьи вступает в силу для всех Стран через три (3) месяца со дня истечения шести (6) месяцев, указанных в пункте 7 настоящей статьи.

Статья 9

Процедура внесения поправок в приложение II

1. В приложение II к Соглашению могут вноситься поправки в соответствии с процедурой, предусмотренной в настоящей статье.

2. Поправки могут предлагаться любой Стороной.
3. Текст любой предлагаемой поправки распространяется секретариатом среди всех членов Рабочей группы, по крайней мере за сорок пять (45) дней до совещания Рабочей группы, на котором ее предлагается утвердить.
4. Поправка утверждается Рабочей группой большинством присутствующих и участвующих в голосовании Сторон. Утвержденная поправка направляется секретариатом Генеральному секретарю Организации Объединенных Наций, который распространяет ее среди всех Сторон.
5. Поправка, утвержденная в соответствии с пунктом 4 настоящей статьи, считается принятой, если в течение шести (6) месяцев со дня уведомления менее одной трети Сторон представляют Генеральному секретарю Организации Объединенных Наций свои возражения против этой поправки.
6. Поправка, принятая в соответствии с пунктом 5 настоящей статьи вступает в силу для всех Сторон через три (3) месяца со дня истечения шести (6) месяцев, указанных в пункте 5 настоящей статьи.

Статья 10

Оговорки

Не допускаются оговорки в отношении любого из положений Соглашения, за исключением случаев, предусмотренных в пункте 5 статьи 13.

Статья 11

Выход

Любая Сторона может выйти из Соглашения путем письменного уведомления, адресованного Генеральному секретарю Организации Объединенных Наций. Выход вступает в силу по истечении двенадцати (12) месяцев со дня получения Генеральным секретарем такого уведомления.

Статья 12

Приостановление действия

Действие Соглашения приостанавливается, если число Сторон становится меньше восьми (8) на период двенадцати (12) месяцев подряд. В таком случае секретариат уведомляет Стороны. Положения Соглашения снова вступают в силу, если число Сторон доходит до восьми (8).

Статья 13

Урегулирование споров

1. Всякий спор между двумя или более Сторонами относительно толкования или применения Соглашения, который спорящие Стороны не могут разрешить путем переговоров или консультации, подлежит примирению по просьбе любой из Сторон, между которыми возник спор, и с этой целью передается одному или нескольким посредникам, избранным по взаимному согласию спорящими Сторонами. Если в течение трех (3) месяцев со дня представления просьбы о примирении спорящие Стороны не придут к соглашению относительно выбора посредника или посредников, любая из этих Сторон может обратиться к Генеральному секретарю Организации Объединенных Наций с просьбой о назначении единого независимого посредника, которому спор передается на разрешение.

2. Рекомендация посредника или посредников, назначенных в соответствии с пунктом 1 настоящей статьи, не имеет обязательной силы, однако становится основой для повторного рассмотрения спорящими Сторонами.

3. По взаимной договоренности Стороны, между которыми возник спор, могут заранее согласиться принять рекомендацию посредника или посредников как имеющую обязательную силу.

4. Пункты 1, 2 и 3 настоящей статьи не должны толковаться как исключающие другие меры урегулирования споров, взаимно согласованные спорящими Сторонами.

5. Любое государство может при сдаче на хранение ратификационной грамоты, документа о принятии, утверждении или присоединении сделать оговорку о том, что оно не считает себя связанным положениями настоящей статьи, касающимися примирения. Другие Стороны перестают быть связанными положениями настоящей статьи, касающимися примирения, в отношении любой Стороны, депонировавшей такую оговорку.

Статья 14

Ограничения в применении

1. Никакое положение Соглашения не должно толковаться как препятствующее какой-либо из Сторон принимать такие совместимые с Уставом Организации Объединенных Наций и ограничиваемые создавшимся положением меры, какие она считает необходимыми для обеспечения своей внешней или внутренней безопасности.

2. Сторона прилагает всевозможные усилия для развития сети Транс-азиатских железных дорог в соответствии с Соглашением. Однако никакое положение Соглашения не должно толковаться как принятие обязательства какой-либо из Сторон разрешить перемещение грузов и пассажиров через ее территорию.

Статья 15
Приложения

Приложения I и II к Соглашению являются неотъемлемой частью настоящего Соглашения.

Статья 16
Секретариат

Секретариатом Соглашения назначается Экономическая и социальная комиссия для Азии и Тихого океана Организации Объединенных Наций.

Статья 17
Депозитарий

Депозитарием Соглашения назначается Генеральный секретарь Организации Объединенных Наций.

В УДОСТОВЕРЕНИЕ ЧЕГО нижеподписавшиеся, должным образом на то уполномоченные, подписали Соглашение,

ОТКРЫТОЕ для подписания в Пусане, Республика Корея, с десятого ноября две тысячи шестого года в одном экземпляре на английском, китайском и русском языках, причем все три текста являются равно аутентичными и имеют одинаковую силу.

Приложение 1

Сеть Трансазиатских железных дорог

Сеть Трансазиатских железных дорог включает указанные ниже железнодорожные линии международного значения.

Линии, образующие основу сети Трансазиатских железных дорог в каждой стране, указываются жирным шрифтом (первая и конечная станции); далее станции перечисляются вертикально. Ответвления указываются справа от узловой станции. Дальнейшие ответвления указываются с отступом под этим первым ответвлением. Все линии в сети Трансазиатских железных дорог имеют одинаковое значение.

Если линии начинаются или заканчиваются у пограничного пункта, то после первой или конечной станции на этой линии или перед ними в скобках указывается название пограничной станции и название соответствующего соседнего государства.

После названий станций, выполняющих специальные функции на линии, соответствующая функция указывается курсивом в скобках. Используется следующая разбивка по функциональному назначению:

- *(пограничная станция),*
- *(место стыковки дорог с разной шириной колеи),*
- *(узловая станция),*
- *(припортовая станция), и*
- *(паромный терминал).*

Недостающие участки пути указываются в [квадратных скобках].

Станции с контейнерными терминалами для обработки соответствующих нормам ИСО контейнеров длиной по крайней мере 20 футов, подчеркиваются одной линией.

Перечень линий сети Трансазиатских железных дорог

Армения

Айрум — Ньюведи

(Садахло, Грузия)

Айрум (*пограничная станция*)

Гюмри (*узловая станция*)

→ Ахурян (*пограничная станция и место стыковки дорог с разной шириной колеи*) — (Догу Капи, Турция)

Масис (*узловая станция*)

→ Ереван — Иджеван (*пограничная станция*) (Бархударли, Азербайджан)

↳ Гагарин — Мартуни — [Джермук — Капан — Мегри (*пограничная станция*)] — (Маранд, Исламская Республика Иран)

Ерасх (*пограничная станция*)

(Белидаг — Орду-бад, Азербайджан)

Мегри

Ньюведи (*пограничная станция*)

(Агбент, Азербайджан)

Азербайджан

Ялама — Беюк-Кясик

(Самур, Российская Федерация)

Ялама (пограничная станция)

Баку (паромный терминал)

→ (Паромное сообщение до портов Каспийского моря в *Исламской Республике Иран, Казахстане, Российской Федерации и Туркменистане*)

Алят (узловая станция)

→ Али Байрамли (узловая станция) — Астара (пограничная станция и место стыковки дорог с разной шириной колеи) — (Астара, Исламская Республика Иран)

→ Али Байрамли (узловая станция) — Агбент (пограничная станция) — (Нюведи-Мегри (пограничная станция), Армения) — Орду-бад — Джюльфа (пограничная станция и место стыковки дорог с разной шириной колеи) — (Джюльфа, Исламская Республика Иран)

Акстафа

→ Бархударлы (пограничная станция) — (Иджеван, Армения)

Беюк-Кесик (пограничная станция)

(Гардабани, Грузия)

Бангладеш

Дарсана — Гундум

(Гиде, Индия)

Дарсана (*пограничная станция*)

Ишурди (*узловая станция*)

→ Абдулпур (*узловая станция*) — Роханпур (*пограничная станция*) — (Синхабад, Индия)

↳ Абдулпур (*узловая станция*) — Парбатипур — Бирол (*пограничная станция*) — (Радхикапур, Индия)

Тонги (*узловая станция*)

→ Дакка

Акхаура (*узловая станция*)

→ Кулаура — Шахбазпур (*пограничная станция*) — (Махисасан, Индия)

Читтагонг (*припортовая станция*)

Дохазари

[Гундум (*пограничная станция*)

(*пограничная станция*) Мьянма]

Камбоджа

Пойпет — Сиануквилль

(Клонгрук, Таиланд)

[Пойпет (*пограничная станция*)

Сисопхон]

Батденг (*узловая станция*)

→ [Кратие (*пограничная станция*) — (провинция Локнинь¹, Вьетнам)]

¹Название станции будет уточнено позднее

Пномпень (*узловая станция*)

Сиануквилль (*припортовая станция*)

Китай

Алашанкоу — Ляньюнган

(Достык, Казахстан)

Алашанкоу (пограничная станция и место стыковки дорог с разной шириной колеи)

Урумчи

Турфан (узловая станция) → Каши [(пограничная станция и место стыковки дорог с разной шириной колеи) — (Торугарт, Кыргызстан)]

Ланьчжоу

Баоцзи (узловая станция) → Куньмин (узловая станция) — Сянюнь (узловая станция) — Дали (узловая станция) — [Качан (пограничная станция и место стыковки дорог с разной шириной колеи) — (Мьиткьина, Мьянма)]

↳ [Сянюнь — Цзинхун (пограничная станция и место стыковки дорог с разной шириной колеи) — (Ботен, Лаосская НДР)]

↳ Дали (узловая станция) — [Жуэли ((пограничная станция и место стыковки дорог с разной шириной колеи) — (Мусе, Мьянма)]

→ Куньмин (узловая станция) — Хэкоу (пограничная станция) — (Лаокай, Вьетнам)

→ Куньмин (узловая станция) — Наньнин (узловая станция) — Гуанчжоу (узловая станция)

↳ Наньнин (узловая станция) — Хэнян (сообщение с линией Пекин-Шэньчжэнь)

↳ Гуанчжоу (сообщение с линией Пекин — Шэньчжэнь)

Сянь

Чжэнчжоу (узловая станция) → (сообщение с линией Пекин — Шэньчжэнь)

Сичжоу (узловая станция) → (сообщение с линией Тяньцзинь — Шанхай)

Ляньюнган (припортовая станция)

Ерэнхот — Даньдун

(Дзамын-Уд, Монголия)

Ерэнхот (*пограничная станция и место стыковки дорог с разной шириной колеи*)

Пекин (*узловая станция*)

→ (сообщение с линией Пекин — Шэньчжэнь)

Тяньцзинь (*припортовая станция*)

Шэньян (*узловая станция*)

→ (сообщение и линией Маньчжурия — Далянь)

Даньдун (*пограничная станция*)

(Синьдзжу, Корейская Народно-Демократическая Республика)

Маньчжоули — Далянь

(Забайкальск, Российская Федерация)

Маньчжоули (*пограничная станция и место стыковки дорог с разной шириной колеи*)

Харбин (*узловая станция*)

→ Суйфеньхе (*пограничная станция и место стыковки дорог с разной шириной колеи*) — (Гродеково, Российская Федерация)

Чанчунь (*узловая станция*)

→ Туманган (*пограничная станция*) — (Намьянг, Корейская Народно-Демократическая Республика)

Шэньян (*узловая станция*)

→ (сообщение с линией Ерэнхот — Даньдун)

Далянь (*припортовая станц.*)

Пекин — Шэньчжэнь

<u>Пекин</u>	
<u>Чжэнчжоу</u> (узловая станция)	→ (сообщение с линией Алашанкоу — Ляньюнган)
Ухань	
Хэнян (узловая станция)	→ Наньнин (узловая станция) — Пинсян (пограничная станция и место стыковки дорог с разной шириной колеи*) — (Донгданг, Вьетнам)
	(* Линия с шириной колеи двух стандартов идет во Вьетнам до Гиалам)
	↳ Наньнин — Куньмин
<u>Гуанчжоу</u> (узловая станция)	→ Наньнин (узловая станция) — Куньмин
	↳ Пинсян (пограничная станция и место стыковки дорог с разной шириной колеи*) — (Донгданг, Вьетнам)
	(* Линия с шириной колеи двух стандартов идет во Вьетнам до Гиалам)
<u>Шэньчжэнь</u>	

Тяньцзинь — Шанхай

<u>Тяньцзинь</u> (припортовая станция)	
<u>Цзинань</u> (узловая станция)	→ <u>Циндао</u> (припортовая станция)
Сичжоу (узловая станция)	→ (сообщение с линией Алашанкоу — Ляньюнган)
Наньцзин	
<u>Шанхай</u> (припортовая станция)	

Корейская Народно-Демократическая Республика

Синьиджу — Кэсон

(Даньдун, Китай)

Синьиджу (*пограничная станция*)

Пхеньян

Кэсон

Бондун (*пограничная станция*)

(Дорасан, Республика Корея)

Туманган — Кумганган

(Хасан, Российская Федерация)

Туманган (*узловая станция, пограничная станция и место стыковки дорог с разной шириной колеи*)

→ Намьян (*пограничная станция*) — (Туманган, Китай)

Раджин (*узловая станция*)

→ Раджин (*припортовая станция*)

Чхонджин (*узловая станция*)

→ Намьян (*пограничная станция*) — (Туманган, Китай)

→ Чхонджин (*припортовая станция*)

Ковон

Вонсан

Хэгымган

Онджонгри (*пограничная станция*)

(Тэджин, Республика Корея)

Грузия

Гантнади — Гардабани

(Веселое, Российская Федерация)

Гантнади (*пограничная станция*)

Сенаки (*узловая станция*) → Поти (*припортовая станция*)

Самтредиа (*узловая станция*) → Батуми (*припортовая станция*)

Тбилиси (*узловая станция*) → Садахло (*пограничная станция*) — (Айрам, Армения)

→ [Ахалкалаки (*пограничная станция и место стыковки дорог с разной шириной колеи*) — (Карс, Турция)]

Гардабани (*пограничная станция*)

(Беюк-Кясик, Азербайджан)

Индия

Аттари — Джирибам

(Вагах, Пакистан)

Атари (пограничная станция)

Дхандари Калан

Дели (узловая станция)

→ Матхура (узловая станция) — Агра — Нагпур (узловая станция) — Виджаявада (узловая станция) — Ченнай (припортовая станция) — Джоларпеттай (узловая станция) — Мадурай (узловая станция) — Тутикорин (припортовая станция)

↳ Матхура (узловая станция) — Мумбай (припортовая станция)

↳ Нагпур (узловая станция) — Мумбай (припортовая станция)

↳ Нагпур (узловая станция) — Колката (припортовая станция)

↳ Виджаявада (узловая станция) — Висакхапатнам - (припортовая станция) - Колката (припортовая станция)

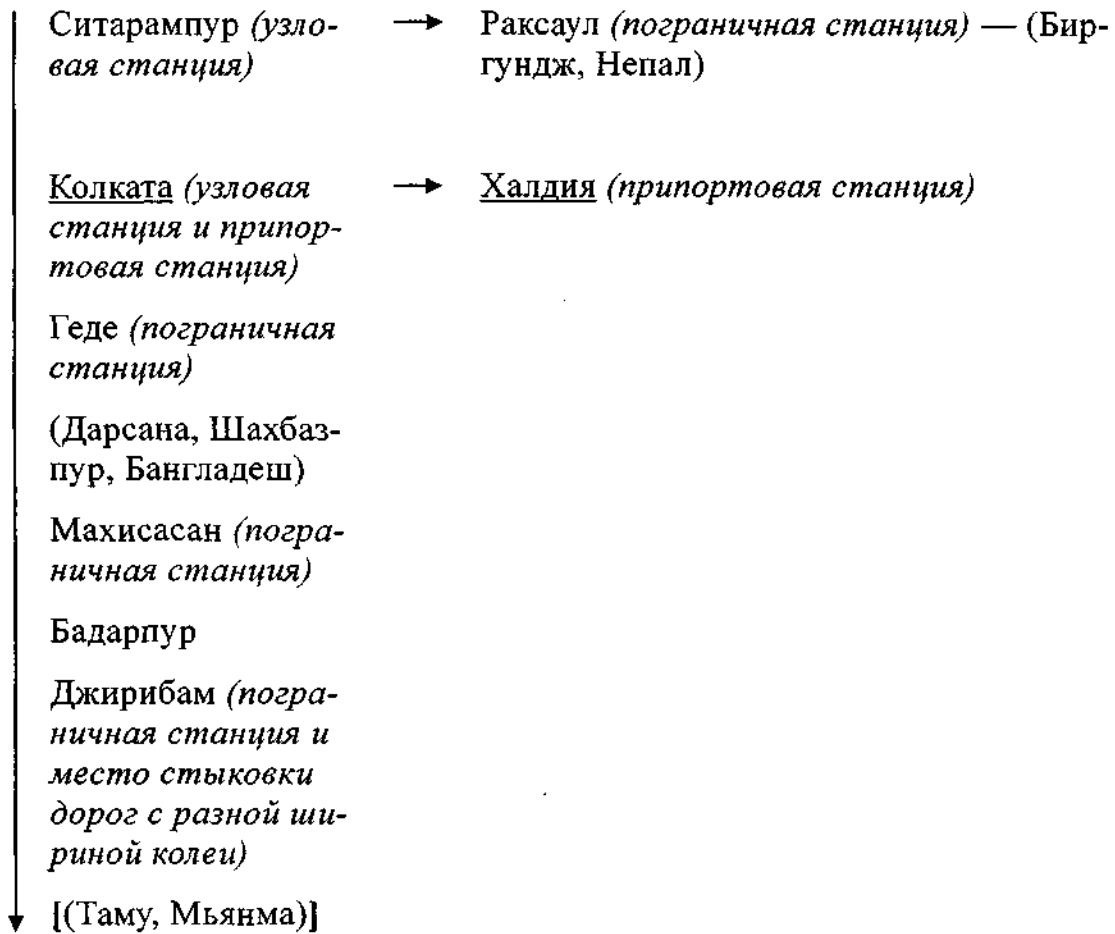
↳ Джоларпеттай (узловая станция) — Мумбай (припортовая станция)

↳ Мадурай (узловая станция) — Рамесварам (паромный терминал) — (Талайманнар, Шри-Ланка)

Канпур (узловая станция)

→ Раксаул (пограничная станция) — (Биргундж, Непал)

↓ Мугхалсарай



Индонезия

Мерак — Баньюванги

Мерак (<i>паромный терминал</i>)	
<u>Джакарта</u> (<i>узловая станция и припортовая станция</i>)	→ Сукабуми — Падаларанг — Чикампек (<i>узловая станция</i>)
Чикампек (<i>узловая станция</i>)	→ <u>Чиребон</u> (<i>узловая станция</i>) — <u>Семарангтаванг</u> (<i>узловая станция</i>) — <u>Сурабаяпасартури</u> (<i>припортовая станция</i>) ↳ Прупук (<i>узловая станция</i>) — Пурвокерто — Кроя (<i>узловая станция</i>)
Бангдунг	
<u>Гедебаге</u>	
Кроя (<i>узловая станция</i>)	→ Пурвокерто — Прупук (<i>узловая станция</i>) — <u>Чиребон</u> (<i>узловая станция</i>)
Йогьякарта (<i>узловая станция</i>)	→ [Магеланг]
Солобалапан (<i>узловая станция</i>)	→ Гундих — <u>Семарангтаванг</u> (<i>узловая станция</i>)
Кертосоно (<i>узловая станция</i>)	→ Вонокромомо — Сурабаякото
Маланг	
Бангил	
Баньюванги (<i>паромный терминал</i>)	

[Банда Ачех] — Пангкалансусу — Рантаупрапат

[Банда Ачех]	
Пангкалансусу	
Медан (<i>узловая станция</i>)	→ <u>Белаван</u> (<i>припортовая станция</i>)
Тебингтинги (<i>узловая станция</i>)	→ Сиантар
Кисаран (<i>узловая станция</i>)	→ Танджунгбалай
↓ Рантаупрапат	→ [Паякурубух]

Телук-Баюр — Муаро

<u>Телук-Баюр</u> (<i>припортовая станция</i>)	
Букитпутус (<i>узловая станция</i>)	→ Индарунг
Паданг	
Лубук-Алунг (<i>узловая станция</i>)	→ Нарас
Паданг-Панджанг (<i>узловая станция</i>)	→ Букиттинги — Паякумбух
Муаракалабан (<i>узловая станция</i>)	→ Савахлунто
↓ Муаро	→ [Лубуклинга]

Лубуклинга — Панджанг

Лубуклинга	
Муараэним (<i>узловая станция</i>)	→ Танджунг-Эним
Прабумулих (<i>узловая станция</i>)	→ <u>Кертапати</u>
↓ Танджунгкаранг (<i>узловая станция</i>)	→ Тарахан
Панджанг (<i>паромный терминал</i>)	

Иран (Исламская Республика)

Рази — Сарахс

(Капикой, Турция)

Рази (пограничная станция)

Суфиян (узловая станция)

→ Джольфа (пограничная станция и место стыковки дорог с разной шириной колеи) — (Джольфа, Азербайджан)

Тебриз

Мияне (узловая станция)

Казвин (узловая станция)

→ [Рашт — Бандаранзали (паромный терминал) — Астара (пограничная станция и место стыковки дорог с разной шириной колеи)] — (Астара, Азербайджан)

(Паромная линия до портов Каспийского моря в Азербайджане, Казахстане, Российской Федерации и Туркменистана)

Тегеран (узловая станция)

→ Ком (узловая станция) — Бадруд (узловая станция) — Мейбод — Бафк (узловая станция) — Керман — (Бам-Фахрадж) — Захедан (место стыковки дорог с разной шириной колеи) — Мирджаве (пограничная станция) — (Кохи-Тафтан, Пакистан)

↳ Ком (узловая станция) — Арак (узловая станция) — Ахваз (узловая станция) — Хоррамшар (припортовая станция)

↳ [Арак (узловая станция) — Керманшах — Хосрави (пограничная станция) — (Ханегейн, Ирак)]

↳ Ахваз — Бендер-Имам (припортовая станция)

↳ Бадруд (узловая станция) — Исфахан

↳ Бафк (сообщение с линией Сарахс — Бендер-Аббас)

Гермсар (<i>узловая станция</i>)	→ <u>Бендер-Амирабад</u> (<i>паромный терминал</i>) (Паромное сообщение с портами Касийского моря в <i>Азербайджане, Казахстане, Российской Федерации и Туркменистане</i>)
Шахруд	
Кашмер (<i>узловая станция</i>)	→ (сообщение с линией Саракс — Бендер-Аббас)
<u>Фариман</u> (<i>узловая станция</i>)	→ <u>Месхед</u>
<u>Саракс</u> (<i>пограничная станция и место стыковки дорог с разной шириной колеи</i>)	
(Саракс, Туркменистан)	

Саракс — Бендер-Аббас

(Саракс, Туркменистан)	
<u>Саракс</u> (<i>пограничная станция и место стыковки дорог с разной шириной колеи</i>)	
<u>Фариман</u> (<i>узловая станция</i>)	→ <u>Месхед</u>
Кашмер (<i>узловая станция</i>)	→ (сообщение с линией Рази — Саракс)
Торбат-Хейдарие	→ [Санган (<i>пограничная станция</i>) — Герат (<i>пограничная станция</i>) — (Афганистан)]
Табас	
Чадормалу (<i>узловая станция</i>)	→ Ардакан
Бафк (<i>узловая станция</i>)	→ (сообщение с линией Ком — Мирджа-ве)
<u>Бендер-Аббас</u> (<i>припортовая станция</i>)	

Казахстан

Петропавловск — Достык

(Утяк, Российская Федерация)

Петропавловск (*пограничная станция*)

Кокшетау

Астана (*узловая станция*)

→ Есиль — Тобол (*узловая и пограничная станция*) — (Карталы, Российская Федерация)

↳ Тобол (*узловая станция*) — Айтекеби — Никельтау — Кандагач (*узловая станция*)

→ (сообщение с линией Семиглавый Мар — Актогай)

Караганды

Моинты (*узловая станция*)

→ Чу (*узловая станция*)

Актогай (*узловая станция*)

→ Семипалатинск — Аул (*пограничная станция*) — (Локоть, Российская Федерация)

→ (сообщение с линией Семиглавый Мар — Актогай)

Достык (*пограничная станция и место стыковки дорог с разной шириной колеи*)

(Алашанкоу, Китай)

Семиглавый Мар — Актогай

(Озинки, Российская Федерация)

Семиглавый Мар

Уральск (пограничная станция)

Илецк I (пограничная станция) Российская Федерация → (Оренбург, Российская Федерация)

Актобе

Кандагач (узловая станция)

→ Никельтау (пограничная станция) — (Орск, Российская Федерация)

↳ Никельтау (пограничная станция) — Ай-теке би — Тобол (узловая станция) — Астана (узловая станция)

→ (сообщение с линией ; Петропавловск — Достык)

→ Макат (узловая станция) — Ганюшкино — (Аксаарайская, Российская Федерация)

↳ Макат (узловая станция) — Бейнеу (узловая станция) — Оазис — (Каракалпакия, Узбекистан)

↳ Бейнеу (узловая станция) — порт Актау (паромный терминал) (Паромное сообщение с портами Каспийского моря в Азербайджане, Исламской Республике Иран, Российской Федерации и Туркменистане)

Тюратам

Кзыл-Орда

Арысь (узловая станция)

→ Сары-Агаш (пограничная станция) — (Келес, Узбекистан)

Чимкент

Джамбул

Луговая (узловая и пограничная станция)

→ (Бишкек, Кыргызстан)

Чу (узловая станция)

→ Моинты (узловая станция)

Алматы-I

Уштобе

Актогай (узловая станция)

→ (сообщение с линией Петропавловск — Достык)

Кыргызстан

Бишкек — Кочкор

(Луговая, Казахстан)

↓
Аламедин
Балычи
↓
[Кочкор]

[Кочкор — Торугарт]

↓
[Кочкор
Кара-Кече
Арпа (*узловая станция*) → [недостающее звено] — Ош (*станция Карасу*) — Джалал-Абад (*пограничная станция*) — (Андижан, Узбекистан)
Торугарт (*пограничная станция и место стыковки дорог с разной шириной колеи*)
↓
(Каши, Китай)]

Граница с Узбекистаном — Ош

↓
(Андижан, Узбекистан)
↓
Ош (*станция Карасу*) (*пограничная станция*)

Лаосская Народно-Демократическая Республика

[Таналенг — Музя]

[(Нонгхай, Таиланд)]

Таналенг (*пограничная станция*)

Вьентьян (*узловая станция*)

→ [Ботен (*пограничная станция*) — (Цзинхун, Китай)]

Тхакхек (*узловая и пограничная станция*)

→ [Накхонпханом, Таиланд]

↓
Музя (*пограничная станция*)

(Музя, Вьетнам)]

[Вангтао — Дэсавань]

[(Чонгмек, Таиланд)]

Вангтао (*пограничная станция*)

Паксе

Саваннакхет (*узловая и пограничная станция*)

→ [(Мукдахан, Таиланд)]

↓
Дэсаван (*пограничная станция*)

(Лаобао, Вьетнам)]

Малайзия

Паданг-Бесар — Джохор-Бару

(Паданг-Бесар,
Таиланд)

Паданг-Бесар (*пограничная станция*)

Букит-Мертаджам (*узловая станция*) → Баттеруэрт (*припортовая станция*)

Ипох

Куала-Лумпур (*узловая станция*) → Порт-Келанг (*припортовая станция*)
→ Сетиа-Джая

Каджанг

Гемас (*узловая станция*) → Вакаф-Бару (*узловая станция*) — Рангау-Панджанг (*пограничная станция*) — (Сунгайколлок, Таиланд)

↳ Вакаф-Бару — Тумпат

Сегамат

Кемпас-Бару (*узловая станция*) → Пасир-Гуданг (*припортовая станция*)
→ Танджунг-Пелепас (*припортовая станция*)

Джохор-Бару (*пограничная станция*)

(Сингапур)

Монголия

Сухэ-Батор — Дзамын-Удэ

(Наушки, Российская Федерация)

Сухэ-Батор (*пограничная станция*)

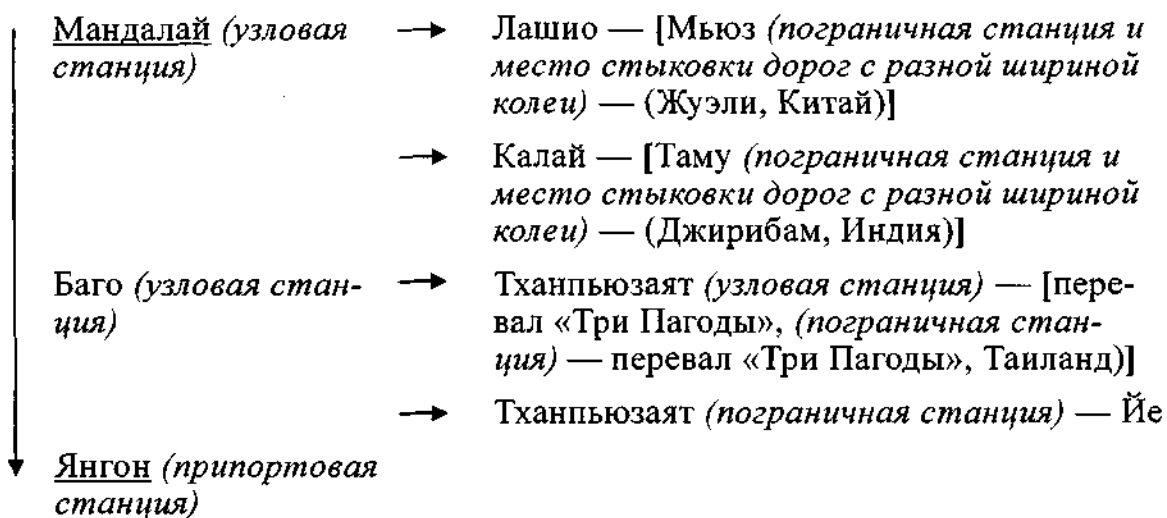
Улан-Батор

Дзамын-Удэ (*пограничная станция и место стыковки дорог с разной шириной колеи*)

(Ерэнхот, Китай)

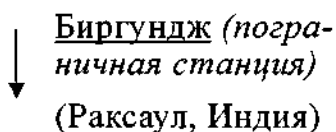
Мьянма

Мандалай — Янгон

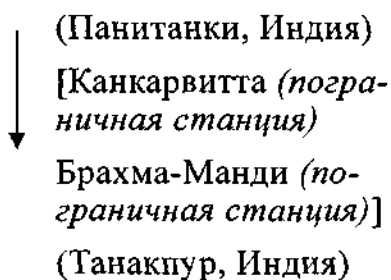


Непал

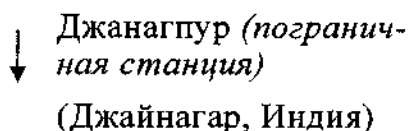
Биргундж — граница с Индией



[Какарвитта — Брахма-Манди]



Джанагпур — граница с Индией



Пакистан

Кохитафтан — Вагах

(Мирджаве, Исламская Республика Иран)

Кохитафтан (*пограничная станция*)

Далбандин (*узловая станция*)

→ [Гвадар (*припортовая станция*)]

Спезанд (*узловая станция*)

→ Кетта — Бостан — Чаман (*пограничная станция*) — (Спинбулдак, Афганистан)

Рохри (*узловая станция*)

→ Хайдарабад (*узловая станция*) — Карачи (*припортовая станция*) — Касим (*припортовая станция*)

↳ Хайдарабад (*узловая станция*) — Мирпурхас — Хокропар (*пограничная станция*)

Лодхран (*узловая станция*)

→ Шер-Шах (*узловая станция*) — Ханевал — Файсалабад — Шахдара (*узловая станция*) (сообщение с линией Лахор-Пешавар)

→ Шер-Шах — Кундиан — Атток (*узловая станция*) — Пешавар (*пограничная станция*) — (Афганистан)

Ханевал (*узловая станция*)

→ Шахдара (сообщение с линией Лахор-Пешавар)

Мултан

Лахор (*узловая станция*)

Вагах (*пограничная станция*)

(Аттари, Индия)

Пешавар — Лахор

(Афганистан)

Пешавар (*пограничная станция*)

Атток (*узловая станция*)

→ Шер-Шах — Лодхран (сообщение с линией Кохитафтан — Вагах)

Исламабад

Равалпинди

Шахдара (*узловая станция*)

→ Ханевал — Лодхран (сообщение с линией Кохитафтан — Вагах)

Лахор

Республика Корея

Дорасан — Пусан

(Бондон, Корейская Нар.-Дем. Республика)

Дорасан (*крайняя северная станция*)

Сеул

Сувон

Тэджон (*узловая станция*)

→ Иксан (*узловая станция*) Мокпо (*припортовая станция*)

↳ Гуаньян (*припортовая станция*)

Тэгу

Пусан (*припортовая станция*)

Российская Федерация

Бусловская — Москва

(Вайниккала, Финляндия)

Бусловская (*пограничная станция*)

Санкт-Петербург (узловая станция) → Мга — Волховстрой — Кошта — Вологда — Котельнич (узловая станция) — Екатеринбург (узловая станция)

↳ Котельнич (узловая станция) (соединение с линией Красное — Находка)

Москва (узловая станция) → (соединение с линией Красное — Находка)

Суземка — Москва

(Зерново, Украина)

Суземка (*пограничная станция*)

Брянск

Москва (узловая станция) → (соединение с линией Красное — Находка)

Красное — Находка

(Осиновка, Беларусь)

Красное (*пограничная станция*)

Смоленск

Москва

Нижний Новгород

Котельнич (узловая станция) → Санкт-Петербург

<u>Екатеринбург</u> (узловая станция)	→	<u>Курган</u> — <u>Утяк</u> (пограничная станция) — (Петропавловск, Казахстан)
	→	Челябинск — <u>Карталы</u> (узловая и пограничная станция) — (Тобол, Казахстан)
	↳	<u>Карталы</u> (узловая и пограничная станция) — <u>Орск</u> (узловая и пограничная станция) — (Никельтау, Казахстан)
	↳	<u>Орск</u> (узловая и пограничная станция) — <u>Оренбург</u> — (Илецк, Российская Федерация) — (Актюбинск, Казахстан)
<u>Татарская</u> (узловая станция)	→	<u>Локоть</u> (узловая и пограничная станция) — (Аул, Казахстан)
<u>Новосибирск</u> (узловая станция)	→	<u>Локоть</u> (узловая и пограничная станция) — (Аул, Казахстан)
<u>Красноярск</u>		
<u>Иркутск</u>		
<u>Улан-Уде</u>		
<u>Заудинский</u> (узловая станция)	→	<u>Наушки</u> (пограничная станция) — (Сухэ-Батор, Монголия)
<u>Каримская</u> (узловая станция)	→	<u>Забайкальск</u> (пограничная станция и место стыковки дорог с разной шириной колеи) — (Маньчжоули, Китай)
<u>Уссурийск</u> (узловая станция)	→	<u>Гродеково</u> (пограничная станция и место стыковки дорог с разной шириной колеи) — (Суйфэньхэ, Китай)
<u>Барановский</u> (узловая станция)	→	<u>Хасан</u> (пограничная станция и место стыковки дорог с разной шириной колеи) — (Туманган, Корейская Народно-Демократическая Республика)
<u>Угловая</u> (узловая станция)	→	<u>Владивосток</u> (припортовая станция)
<u>Находка</u> (узловая станция, припортовая станция)	→	<u>Восточный</u> (припортовая станция)

Москва — Самур

Москва

Рязань

Кочетовка (*узловая станция*) → Ртищево — Саратов — Озинки (*пограничная станция*) — (Семиглавый Мар, Казахстан)

Грязи (*узловая станция*) → Волгоград

Лиски

Лихая (*узловая станция*) → Ростов — Краснодар (*узловая станция*) — Веселое (*пограничная станция*) — (Гантиади, Грузия)

↳ Краснодар (*узловая станция*) — Крымская (*узловая станция*) — Новорос-
сийск (*припортовая станция*)

↳ Крымская (*узловая станция*) — Кавказ
(*припортовая станция и паромный терминал*)

Волгоград (*узловая станция*) → Грязи

Аксарайская (*узловая и пограничная станция*) → (Ганюшкино, Казахстан)

Астрахань → Порт Оля (*паромный терминал*) — (Паромное сообщение с портами Каспийского моря в Азербайджане, Исламской Республике Иран, Казахстане и Туркменистане)

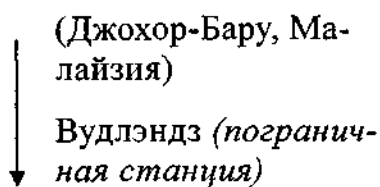
Махачкала (*пограничная станция и паромный терминал*) → (Паромное сообщение с портами Каспийского моря в Азербайджане, Казахстане и Туркменистане)

Самур (*пограничная станция*)

(Ялама, Азербайджан)

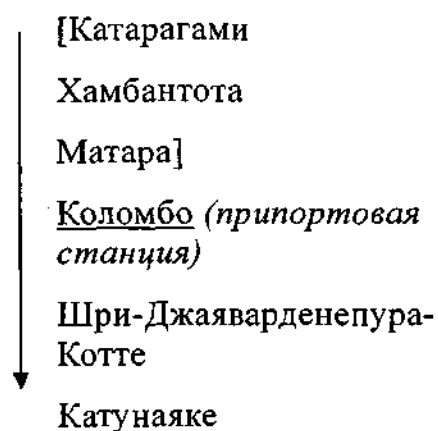
Сингапур

Вудлэндз —

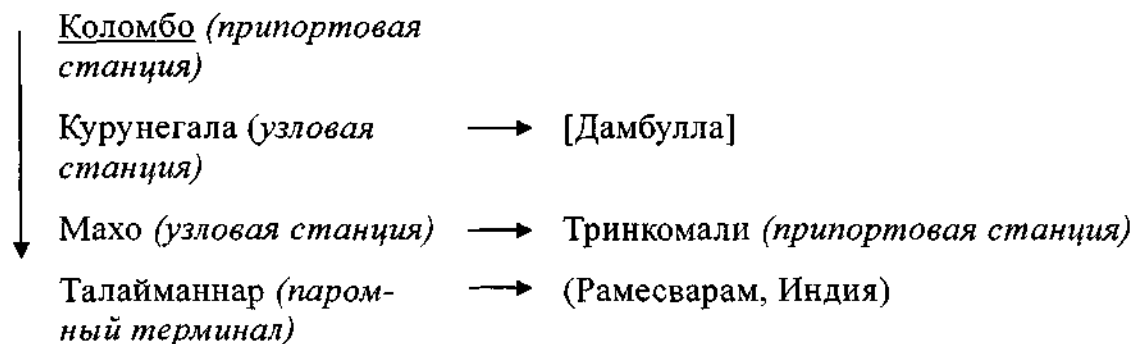


Шри-Ланка

Катарагами — Катунаяке



Коломбо — Талайманнар



Таджикистан

Нау — Канибадам

(Бекабад, Узбекистан)

Нау (*пограничная станция*)

Худжанд

Канибадам (*узловая и пограничная станция*)

→ Исфара

(Суванабад, Узбекистан)

Пахтаабад — Янги-Базар

(Сарыасия, Узбекистан)

Пахтаабад (*пограничная станция*)

Регар

Душанбе II

Душанбе I

Янгибазар

Хошады — Куляб

(Амузанг, Узбекистан)

Хошады (*пограничная станция*)

Курган-Тюбе (*узловая станция*)

→ Яван

Куляб

Таиланд

Нонгкай — Падангбесар

(Тханаленг, Лаосская Народно-Демократическая Республика)	
Нонгкай (пограничная станция)	
Буаяй (узловая станция)	→ [Накхонпханом (пограничная станция) — (Тхакхек, Лаосская Народно-Демократическая Республика)]
	→ [Мукдахан (пограничная станция) — (Саваннакхет, Лаосская Народно-Демократическая Республика)]
Кэнгкхой (узловая станция)	→ Накхонратчасима — Убонратчатхани — [Чонгмек (пограничная станция) — (Паксе, Лаосская Народно-Демократическая Республика)]
Банпхачи (узловая станция)	→ Накхонсаван (узловая станция) — Денчай (узловая станция) — Чиангмай
	↳ [Накхонсаван — Мэсот (пограничная станция) — (Мьявади, Мьянма)]
	↳ [Денчай — Чианграй — Мэсай (пограничная станция) — (Тачилек, Мьянма)]
Бангкок — станция	→ <u>Ладкрабанг</u> — Чаченгсау (узловая станция) — Сирача (узловая станция) — Каочичан (узловая станция) — Саттахип (припортовая станция)
Бангсы (узловая станция)	→ Чаченгсау (узловая станция) — Араньяпратхет — Клонггук (пограничная станция) — [(Пойпет, Камбоджа)]
	→ Сирача — <u>Лэмчабанг</u> (припортовая станция)
	→ Каочичан — <u>Маптапут</u> (припортовая станция)
Нонгпладук (узловая станция)	→ Намток — [перевал «Три Пагоды» (пограничная станция) — (Тханпьюзаят, Мьянма)]
Хатгьяй (узловая станция)	→ Сунгайколок (пограничная станция) — (Рангау-Панджанг, Малайзия)
Паданг-Бесар (пограничная станция)	
(Паданг-Бесар, Малайзия)	

Турция

Капикуле — Капикой

(Болгария, Европа)

Капикуле (*пограничная станция*)

Стамбул

Эскишехир (*узловая станция*) → Алайынт — Балыкесир — Измир (*пограничная станция*)

Анкара

Калин (*узловая станция*) → Самсун (*припортовая станция*)

Сивас

Четинкая (*узловая станция*) → Карс (*узловая станция*) — Догукэпи (*пограничная станция и место стыковки дорог с разной шириной колеи*) — (Ахурян, Армения)

→ [Карс (*узловая станция, пограничная станция и место стыковки дорог с разной шириной колеи*) — (Акхалкалаки, Грузия)]

Малатья (*узловая станция*) → Топпракале (*узловая станция*) — Адана — Мерсин (*припортовая станция*)

→ Топпракале — Искендерон (*припортовая станция*)

Татван-Ван (*паромная переправа*)

Капикой (*пограничная станция*)

(Рази, Исламская Республика Иран)

Туркменистан

Туркменбаши — Туркменабад

(Баку, Азербайджан)

Туркменбаши (*паромный терминал*)

→ (Паромное сообщение с портами Каспийского моря в *Азербайджане, Исламской Республике Иран, Казахстане* или *Российской Федерации*)

Ашгабад

Тенжен

Мары (*узловая станция*)

→ Паракхат — Сарахс (*пограничная станция и место стыковки дорог с разной шириной колеи*) — (Сарахс, Исламская Республика Иран)

Туркменабад (*узловая и пограничная станция*)

→ Газачак (*пограничная станция*) — (Питняк — К.П. 449, Узбекистан) — Дашховуз — Тахяташ (*пограничная станция*) — (Узбекистан)

(Ходчадавлет, Узбекистан)

Узбекистан

Келес — Ходчадавлет

(Сари-Агаш, Казахстан)

Келес (пограничная станция)

Тукумачи (узловая станция)

→ Озодлык — [Ангрен -- Халкобад] — Пап (узловая станция) — Коканд

Сырдарьинская

Хаваст (узловая станция)

→ Бекабад (пограничная станция) — (Нау — Канибадам, Таджикистан) - Суванабад (пограничная станция) — Коканд (узловая станция) — Маргилан — Андижан (пограничная станция) — (Ош, Кыргызстан)

↳ Коканд (узловая станция) — Пап (узловая станция) — Наманган

Самарканд

Улугбек

Навои (узловая станция)

→ Тинчлик — Учкудук — Нукус — Кунград — Каракалпакия (пограничная станция) — (Оазис, Казахстан)

Бухара (узловая станция)

→ Карши — (узловая станция) — Ташгузар (узловая станция) [Деханабад — Дарбанд] — Бойсун — Кумкурган (узловая станция) — Сарыасия — (пограничная станция) — (Пахтаабад, Таджикистан)

↳ Карши (узловая станция) — РЖД 154 (пограничная станция) — (Талимарджан — Керкичи (узловая станция) — Келиф, Туркменистан) — Термез — (узловая станция) — Галаба (пограничная станция) — (Хайратон, Афганистан)

↳ Термез (узловая станция) — Кимкурган (узловая станция) — Сарыасия (пограничная станция) — (Пахтаабад, Таджикистан)

Ходчадавлет (пограничная станция)

(Туркменабад, Туркменистан)

Вьетнам

Лаокай — Хошимин

(Хэкоу, Китай)

Лаокай (пограничная станция)

Донгань (узловая станция)

Йенвьен (узловая станция)

Зялам (узловая станция)

Ханой

Танап (узловая станция)

Дананг

Хошимин (узловая станция)

→ Лукса — Куантриеу

→ (Сообщение с линией Ханой — Донгданг)

→ Хайфон (припортовая станция)

→ [Музя (пограничная станция) — (Лаосская Народно-Демократическая Республика)]

→ [Вунганг (припортовая станция)]

→ [Вунгтау (припортовая станция)]

→ [провинция Локнинь¹ (пограничная станция) — (Кратие, Камбоджа)]

1. Название станции будет уточнено позднее.

Ханой — Донгданг

Ханой

Зялам (узловая станция)

Йенвьен (узловая станция)

Лим (узловая станция)

Кеп (узловая станция)

Донгданг (пограничная станция)

(Пинсян, Китай)

→ (Сообщение с линией Лаокай — Хошимин)

→ Пхалай (узловая станция) — Халонг (припортовая станция)

→ Халонг — Кайлан (припортовая станция)

→ Лукса — Куантриеу

Приложение II

Основные положения, касающиеся технических характеристик сети Трансазиатских железных дорог

1. Общие положения

В основу технических характеристик сети Трансазиатских железных дорог, приведенных в приложении I к Соглашению, положены ниже следующие принципы. Стороны прилагают всевозможные усилия для соблюдения этих принципов как при строительстве новых участков железных дорог, так и при реконструкции и модернизации действующих участков.

2. Пропускная и провозная способность линий

Железнодорожные линии международного значения должны иметь достаточную пропускную и провозную способность, чтобы обеспечивать эффективные, надежные и экономичные железнодорожные перевозки грузов и пассажиров.

3. Габарит погрузки

С учетом того, что сеть Трансазиатских железных дорог станет одним из важных компонентов в определении комплексной сети международных интермодальных перевозок для стран региона ЭСКАТО, существующие линии сети должны быть в необходимых случаях модернизированы, а новые линии проложены таким образом, чтобы обеспечить беспрепятственную перевозку отвечающих стандартам ИСО контейнеров длиной по крайней мере 20 футов и выше.

4. Совместимость

Технические требования должны обеспечивать беспрепятственную перевозку международных грузов и контейнеров по железнодорожным линиям международного значения. Соответственно, железнодорожные линии и соответствующие инфраструктура и оборудование должны отвечать международным требованиям, в том числе требованиям к перевозке тяжеловесными поездами и перевалке таких грузов, как, в частности, нефтепродукты, уголь, руда, цемент и зерно.

Сторонам следует учитывать технические требования соседних стран и других стран, через которые проходят железнодорожные линии международного значения, и стремиться модернизировать свои линии, чтобы снять технические ограничения и обеспечить совместимость железных дорог.

Там, где совпадение ширины колеи позволяет обеспечить непрерывность перевозок, или где ширина колеи, по всей вероятности, совпадет вследствие строительства недостающих участков, пересекающих границу, возникают вопросы конкретного характера в отношении совместимости подвижного состава, используемого в международных перевозках, и в частности, тормозных систем и сцепки. В этой связи для обеспечения эффективности железнодорожных перевозок через границы потребуется использовать подвижной состав с пневматическими тормозами и совместимыми системами сцепки.

Для справки ниже приводятся данные о ширине колеи в сети Трансзиатских железных дорог:

Ширина железнодорожной колеи в странах — членах сети ТАЖД (в мм)				
1 000	1 067	1 435	1 520	1 676
1. Бангладеш ¹	Индонезия	1. Китай ²	1. Армения	1. Бангладеш ¹
2. Камбоджа		2. Корейская Нар.-Демокр. Республика	2. Азербайджан	2. Индия
3. Лаосская Нар.-Дем. Республика		3. Республика Корея	3. Грузия	3. Непал
4. Малайзия		4. Исламская Респ. Иран	4. Казахстан	4. Пакистан
5. Мьянма		5. Турция	5. Кыргызстан	5. Шри-Ланка
6. Сингапур ³			6. Монголия	
7. Таиланд			7. Российская Федерация	
8. Вьетнам ⁴			8. Таджикистан	
			9. Туркменистан	
			10. Узбекистан	

Потенциальные члены ТАЖД: Филиппины (колея 1067 мм) и Япония (колея 1067 мм)

¹ Часть железнодорожной сети страны.

² Включает также путь (из Вьетнама и во Вьетнам) с шириной колеи 1000 мм.

³ Движение осуществляется по железным дорогам Малайзии.

⁴ Имеются также пути, ширина колеи которых составляет 1435 мм, и двойные пути шириной 1000/1435 мм.

5. Стандарты для контейнерных терминалов

Международные интермодальные перевозки требуют наличия эффективно функционирующих контейнерных терминалов. Международные контейнерные терминалы на линиях сети Трансзиатской железной дороги должны:

- располагаться как можно ближе к основным магистралям, чтобы не приходилось терять время на прибытие/отправление;
- располагаться в стороне от других грузовых дворов, чтобы их работе не мешали другие маневры;

- обеспечивать свободный доступ к автодорожным транспортным средствам, чтобы гарантировать надежность перевалки грузов с автомобильного на железнодорожный транспорт;
- иметь достаточно протяженные пути в местах погрузки/разгрузки для уменьшения числа необходимых маневров;
- быть оснащены оборудованием, включающим порталные краны, стреловые автопогрузчики, грузоподъемные приспособления и/или механические укладчики, способные производить погрузку и разгрузку отвечающих стандартам ИСО контейнеров длиной по крайней мере 20 футов;
- предусматривать возможность расширения;
- обеспечивать таможенную очистку грузов.

I hereby certify that the foregoing text is a true copy of the Intergovernmental Agreement on the Trans-Asian Railway Network, adopted in Jakarta on 12 April 2006, the original of which is deposited with the Secretary-General of the United Nations.

Je certifie que le texte qui précède est une copie conforme de l'Accord intergouvernemental sur le réseau du Chemin de fer transasiatique, adopté à Jakarta le 12 avril 2006, et dont l'original se trouve déposé auprès du Secrétaire général des Nations Unies.

For the Secretary-General,
The Legal Counsel
(Under-Secretary-General
for Legal Affairs)

Pour le Secrétaire général,
Le Conseiller juridique
(Secrétaire général adjoint
aux affaires juridiques)


Nicolas Michel

United Nations
New York, 30 June 2006

Organisation des Nations Unies
New York, le 30 juin 2006

Certified true copy X1.C.5
Copie certifiée conforme X1.C.5
June 2006